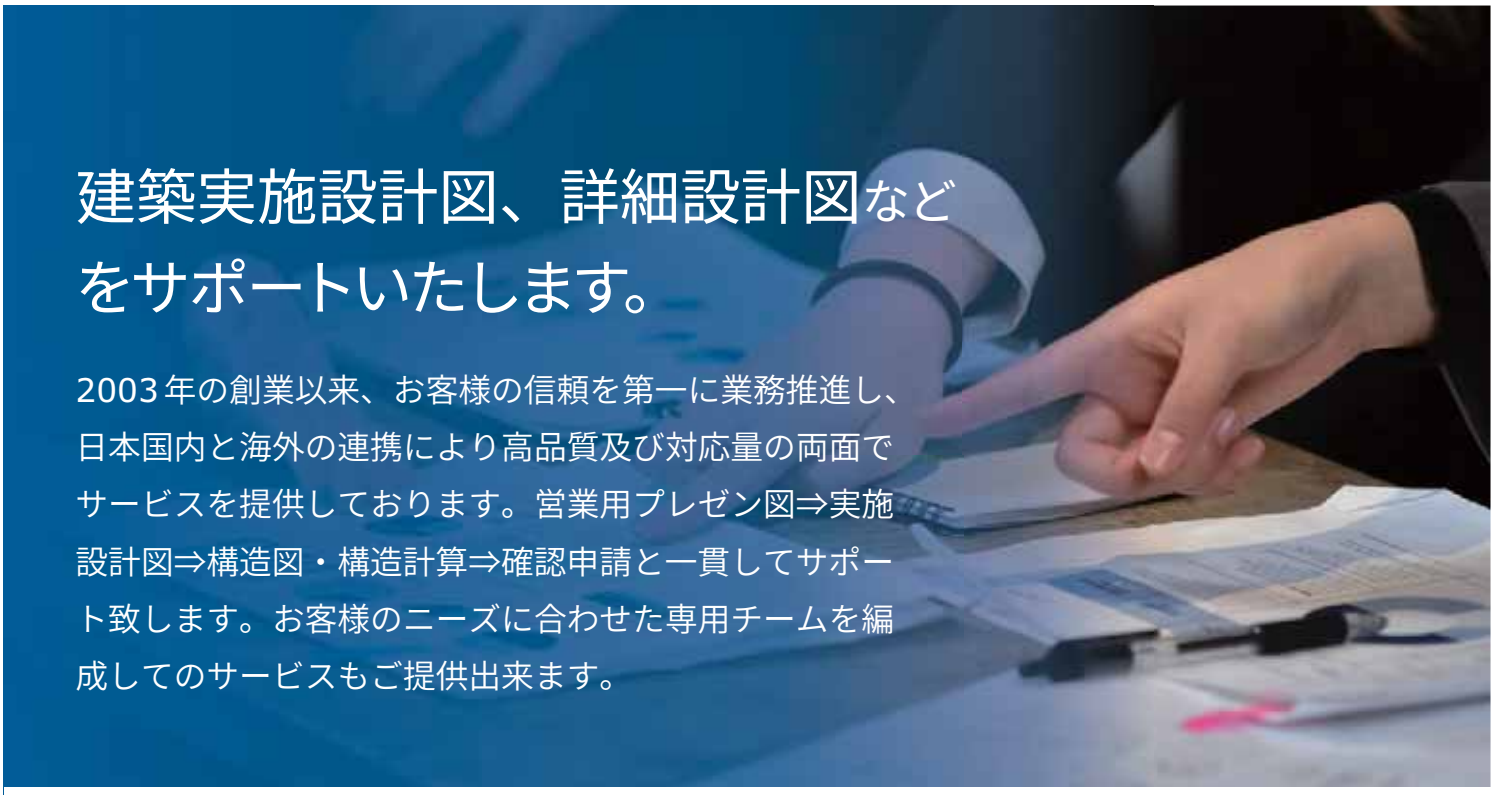
TMU

Bulletin of Tokyo Metropolitan University Alumni Association

2025 年（令和 7 年） No. 20

一般社団法人　東京都立大学同窓会・会報



建築実施設計図、詳細設計図などをサポートいたします。

2003年の創業以来、お客様の信頼を第一に業務推進し、日本国内と海外の連携により高品質及び対応量の両面でサービスを提供しております。営業用プレゼン図⇒実施設計図⇒構造図・構造計算⇒確認申請と一貫してサポート致します。お客様のニーズに合わせた専用チームを編成してのサービスもご提供出来ます。

業務内容 WORK AREAS

- 営業用プレゼン図
- 意匠図、構造図
- パネル割り付け図
- 電気給排水図、測量図
- 外皮計算、壁量計算
- 確認申請・住宅性能評価・省エネ申請（WEB 申請）
- 構造計算（許容応力度計算）など

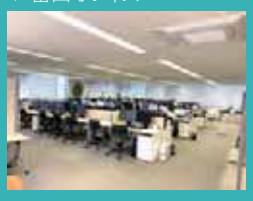
CAD ソフト：JWCAD, アーキトレンド , デジド ,PS/5, その他お客様指定ソフト

会社概要（ご連絡お問い合わせ先）

CoAd

商号	コーアド株式会社　一級建築士事務所
所在地	〒171-0005 東京都豊島区南大塚3丁目51-5 HKアークビル201
Tel/Fax	03-5904-8535 / 03-5904-8536
創業	2003 年
資本金	1,000 万円
代表取締役	高部明敏
社員数	日本 30 名　中国 120 名（グループ）
Mail	winwin@takabecorp.com
URL	https://www.coadltd.com/

▼ 富山オフィス



▼ 大連オフィス

巻頭言

一般社団法人
東京都立大学同窓会
会長
吉田　雅俊
よしだ　まさとし
都立大 1975 年卒 工学部 機械工学

（株）日税ホールディングス代表取締役会長（CEO）
国際ロータリー
第 2580 地区（東京・沖縄）パストガバナー

東京都立大学同窓会（八雲会）は、一九四九年の大学開学を経て、一九五七年一一月三日に設立されました。初代名誉会長には大学の前総長矢野禾積氏が就任し、各学部長や事務局長、教務部長が顧問として名を連ね、毎年一一月三日に総会を開催することが決まりました。一九六〇年の定期総会では、会員名簿の整備や会報の定期発行、入会金の増額、在校生を準会員とすることなどが決議されました。同窓会事務局は大学の学生課内に設置され、学生部長や職員から多大な協力を得ていました。当時の会員数は、二九九三名でした。一九六三年一月二六日には関西支部が結成されました。

一九六一年四月一日に同窓会報第一号が発行されました。第一号には矢野名誉会長が寄稿し、会報が大学と卒業生、そして同窓生同士を結びつける連絡機関として重要な役割を果たすことを期待していると書いています。翌年発行の第二号では、二代目の名誉会長に就任した永井雄三郎総長が、旧帝大や旧ナンバースクールを「老舗」と言うなら、創立一〇周年を過ぎた都立大学も同窓会と一体となり、社会の基盤となる新しい「老舗」作りに励むことが重要だと述べています。

こうした歴史を持つ東京都立大学同窓会は、創立から六八年を経た現在、会員数は八万人を超え、全国に七支部、海外に二拠点を擁するまでになり、クラブ、サークル、同好会、ゼミなどの各種ＯＢＯＧ団体がつながり合う更なる組織化を進めています。

二〇二二年四月には任意団体から一般社団法人へと法人化しました。これにより同年一二月に、同窓会と大学の間で「包括連携協定」が締結されました。同窓会が大学と同じ場に立つ公的な組織として認められたことの表れであると考えられます。さらに、大橋隆哉現学長は、学長重点施策の中で、学生支援・大学運営施策として、「同窓会との包括連携協定に基づく適切な協力関係の構築」を掲げています。

私は、大学と同窓会は一体不可分の関係にあると考えています。同窓会は同じ大学の卒業生の集合体であり、大学も卒業生抜きには存在し得ません。卒業生の社会での活動は、大学の社会的評価に大きく関わっています。したがって、大学は同窓会を積極的に活用すべきと思います。

他大学では同窓会活動に大学教職員も参加できる「校友会」の形をとるところもあります。この組織は、同窓会の独自性や自立性を尊重しつつ、双方が互いの強みを生かし、一体となって共存共栄を目指すものです。都立大においても、大学と同窓会が共に発展していく上で、「校友会」組織は極めて有効であると考えます。

前述のとおり都立大では同窓会が設立された当初から、大学との間には「校友会」の原型とも言える関係が築かれていたと考えられます。そして現在、同窓会の法人化を契機に、大学と同窓会がより強固な関係を築き、校友会設立に向けて具体的な協議を進める段階に至っています。学長が同窓会との連携を学長方針に掲げ、校友会設立に積極的な姿勢を示していることは、その象徴的な動きと言えるでしょう。

同窓会としても大学との意見交換、協議を進められるよう、理事会において校友会に関する検討チームを立ち上げます。今後、大学と同窓会が協力・連携し、より発展的な関係を築いていくことが期待されます。

写真上から 南大沢キャンパス
1号館・光の塔

日野キャンパス新棟 6 号館

荒川キャンパス校舎棟

一般社団法人　東京都立大学同窓会

広報委員会委員

委員長	荻原　信吾	都 76 年	仏文
副委員長	諸貫　信行	都 79 年	機械
	畑　　純一	保 07 年	放射
	鎌田　美結	都 21 年	法学
	黒川　　信	都 80 年	生物
	梶川　義実	都 83 年	経済
	鈴木祐美子	都 08 年	生物

会報編集委員会

委員長	河井　　信	都 68 年	経済
	荻原　信吾	都 76 年	仏文
	鈴木祐美子	都 08 年	生物
	諸貫　信行	都 79 年	機械
	黒川　　信	都 80 年	生物
	山下日出之	都 78 年	法律
	安達　貴仁	都 02 年	史学
	稲野辺久智	都 06 年	史学

Bulletin of Tokyo Metropolitan University Alumni Association

一般社団法人 東京都立大学同窓会 会報 第 20 号

巻頭言 …… 同窓会長 … **吉田　雅俊** …… 1

同窓生はいま …… 4

博士号取得で開かれた新世界 …… 辻村　　学 …… 4

脱サラ 20 年・いかに生きるかの日々 …… 古山 ひろし …… 5

星で繋がる素敵なご縁 …… 舩木　　恵 …… 5

大学での学びを社会で生かす …… 中村　汐里 …… 6

プレミアム・カレッジをさらに繋ぐ …… 大和田明宣 …… 7

同窓生訪問インタビュー

東京大学先端科学技術研究センター特任教授 …… **福島 智さん** …… 9

第 38 回青鳩祭を終えて …… **三浦　琉奈** …… 11

大学の寄附金メニューがリニューアル …… **都立大学 寄附金担当** … 12

帰国留学生報告 …… **木須　絢香** …… 13

TMU プラザ …… 14

1980 年度入学 SIB クラス会（14）／ 1974 年入学 JE1C 入学同窓旅行（14）／ 1972 年入学法学部卒業同期会（15）／「日立八雲会 2024」開催報告（15）／八雲展グループ（16）／東京都立大学・首都大学東京自動車部 OB & OG 会（17）／硬式庭球部 OBOG 会のご報告（18）／竹中工務店 東京都立大学・都立科学技術大学・首都大学東京　同窓会のご紹介（19）／卒業から 60 年目の同期会（20）

同窓会イベント　ホームカミングデー／鎧兜の展示他 …… 21

支部だより …… 22

北海道支部（22）／中部支部（22）／関西支部（23）／九州支部（23）

訃報・追悼文 …… 25

学生支援活動 ①　プロジェクト奨励賞 …… 26

人力飛行機研究会 MaPPL（26）／鳥人間部 T-MIT（26）／ 東京都立大学学生フォーミュラプロジェクト Formula TMU（26）／いきもの!サークル東京（26）／ CORE（26）／都立大子どもまつり実行委員会（27）／東京都

立大学管弦楽団（27）／さはらかん（27）／いきもの!サークル東京（27）

学生支援活動②　寄付講義 …… 28
学生支援活動③　スポーツ・文化活動賞 同窓会長特別表彰 …… 29
板倉 広昂（29）／体育会合氣道部（29）／人力飛行機研究会 MaPPL（29）／フライングディスク部 butterfly（29）／体育会硬式庭球部（29）／木須 雄士郎（29）／伊賀 悠洋（30）／海老澤 元（30）／東京都立大学テコンドー部（30）／いきもの!サークル東京（30）

学生支援活動④　同窓会奨学金制度 …… 31

つなぐ研究室紹介シリーズ
人間健康科学研究科　筋骨格系理学療法研究室…… 32

母校はいま …… 33
24 年度秋季卒業式・修了式（33）／ 24 年度秋季入学式（33）／次期学長候補者の決定（33）／東京都立大学「グローバル教養講座」の一般公開（33）／「光の塔の日」キャンペーン（33）／「英語学位プログラム」・「国際系新学部」について（34）／ 24 年度卒業式・修了式（34）／ 25 年度入学式（34）／ 25 年度入試状況（35）／退職された教授・准教授（35）／名誉教授称号授与者（35）／司法試験合格者数（35）／叙勲のお祝い（35）／ 23 年度卒業・修了生の主な就職先（36）

寄付金受領のお礼と報告・お願い …… 37

新規プロジェクト活動 …… 39
現役学生との連携模索と学生の手を借りた情報発信 …… 39
青梅・御嶽山での現役学生と同窓生の交流イベント（新規）…… 39

東京都立大学 OBOG ネットワークへの登録のお願い …… 39

第 4 回定時代議員会議事録抜粋 …… 40

会計報告 …… 41

八雲クラブで会いましょう …… 43

協賛広告・投稿作品の募集／住所等変更届案内／編集後記 …… 44

会報 TMU 発送の一時停止／会費・終身会費、寄付金のお願い …… 45

——— 表紙の言葉 ———

荒川キャンパス食堂前の像

齋藤 夕子
杉並区保健師
都立医療技術短大
専攻科 1996 年卒業

30 年前の春、保健婦（現：保健師）の資格取得を目指し、私は荒川キャンパスに編入しました。同年1月に阪神淡路大震災、3月に地下鉄サリン事件が発生した年でした。当時、私は大学病院の手術室で看護婦として勤務しており、大震災時には震災現場へ手術室から看護婦の派遣チームを送り出し、サリン事件の際には、事故現場から搬送された患者を診察する救急外来で異常事態が発生していることを知りながらなす術もなく無力感に苛まれ、毒物の被害や対処方法を独学しました。

同年4月に後ろ髪を引かれるように病院を退職し、荒川キャンパスでの学生生活を始めました。あっという間の1年間の学生生活は、保健予防の観点で社会を視る視点を学び、家庭訪問などの現場実習により生活者の視点で生活を支援する方策を想像する経験をし、それが保健師活動の基本として今も活かされています。

同キャンパスは、看護師・保健師・助産師、放射線技師、理学療法士・作業療法士などの保健医療の専門職を育成する学部で、専門技術の習得のために実習が必修科目となっています。

特に看護系の実習では、患者役として都立大学同窓生の諸先輩方に長年にわたり多大なご協力を賜っていることに、この場をお借りして、心より御礼申し上げますとともに、重ねて感謝申し上げます。

これからの時代、30 年前にはなかった「AI」という新しい技術を駆使していくことが保健医療の現場でも求められていることと思います。

この表紙の写真は、食堂棟の入口付近にある像で一見、ロダンの「考える人」を想起させるとともに、どの時代にあっても「人」でなければできないことは何かを私達に問うているようにも見えます。

今後の荒川キャンパスには、保健医療の専門職として生活者に寄り添う「人」としての感性を育む人材育成の取り組みに大いに期待します。

同窓生はいま

あの人はいま 何してるかな?

博士号取得で開かれた新世界

辻村　学
つじむら　まなぶ

都立大 74 年卒・機械
都立大院（博士課程）02 年修了
（株）荏原製作所　フェロー

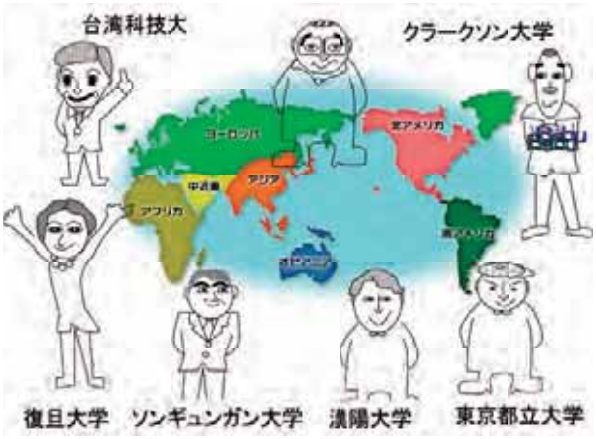
この度「同窓生はいま」への執筆を依頼され、今まで振返ってこなかった私の過去・現在、そして未来を考える良い機会を戴きました。振返ってみると、あれまあ大変、こんなこと、あんなこと、思い出すと次から次へと、1000字どころか無限に続きます。確かに「人に歴史あり」ですね。今回は「博士号学位取得後に開かれた新世界」を中心にお話させて戴きます。

私の人生を大きく分けますと【生誕から大学を経て企業入社までの人間形成揺籃期】【荏原製作所で最初に経験した海外プロジェクトから社内倒産までの企業人形成導入期】【半導体業界の世界で戦う企業人形成の成長期】、そして衰退期など吹っ飛ばし【新たな世界への挑戦、現在進行中】です。これらの人生の最大の転換点が「博士号学位取得」でした。

何故私が博士号学位取得を目指したのか。実はとっても恥ずかしい理由です。当時世界の半導体エンジニアとお付き合いしていると、ほとんどの方が博士でした。時の上司が「辻村君､これではとても恥ずかしい。ちょっと行って取ってこい!」と命令口調で。私はというとこれまた能天気に「わっかりましたあ」と引き受けたのは良いのですが、ところで博士号ってどうやれば取れるの?

正に暗中模索の中で思い出したのが優しい先輩の太田正廣教授でした。事情を話すと先生は優しく、でも厳しく「博士号学位というのは個人に与えられる最高の栄誉である。目指すからにはそれ相応の覚悟、そして学位が授与されたらその名に恥じない貢献をしなさい」とご指導戴きました。このご指導はその後の私の座右の銘になっています。

事実、すったもんだの（先生の?）努力の結果、2002 年めでたく博士号学位が授与されました。すると、本当に世界が変わりました。それまでお付き合い戴いていた各国の先生方から客員教授のお誘いがありました。日米韓台中の 5 エリアで約 20 年間、本来の業務以外に客員講義を続けました。おかげで今は 5 エリアに数 100 名の教え子がいます。



これまでに貢献した世界5エリアの大学

韓国・台湾・中国には恩師の日というのがあり、毎年 5 月に招待されます。そこで、習い覚えた韓国語や中国語でスピーチをして笑いを誘っています。それ以外にもいろいろと（割愛）。

漢陽大学・恩師の日

これらそれらの貢献活動のおかげか、2023 年には藍綬褒章を戴きました。これが、博士号学位が拓いてくれた私の新世界です。先生、楽しい人生をありがとうございます!

藍綬褒章

脱サラ 20 年・いかに生きるかの日々

古山　ひろし
ふるやま　ひろし
都立大 75 年卒・生物

脱サラしてそば屋を始めて、20 数年になります。同級生はほとんどリタイアしていますが、自営業は勝手にだらだら続けることができます。昨年店舗を自宅に移転したので、のんびりやっております。善福寺川沿いの緑地公園脇の住宅地でそれほどお客さんは見えないので、なんとか対応しております。

大学の成績は悪く、就活も適当だったので、卒業後は主に小零細の出版社を転々としておりました。最後に所属していたのは、獣医師向けの出版社でしたが、ずっといるような会社ではなかったので、たまたま日刊ゲンダイで脱サラしてそば店を始めた人の記事を見て、そば屋ならそれほどオリジナリティーや努力もいらず、未経験の私でもできそうだなと思い、始めました。ちょうど高橋尚子さんが、金メダルをとった年でした。

経営や調理などはカミさん主導で、私はただ蕎麦を打っているだけですが、子供など被扶養者もいなかったので、今日まで続けることができました。

「蕎ふるやま」はカフェも併設しています

学生時代は自転車部に所属していました。合宿（テントで共同生活）などであちこち出かけました。いつも合宿地まで数人で走って行きましたが、その間は廃屋などで寝袋にくるまり、浮浪者のような生活をしていました。あるとき、親切にも一夜の宿を提供してくれた方がいらっしゃいました。東京とは感覚が違うのだなあとありがたく、感激しました。その自転車部も事故で廃部になったそうで、とても残念です。ぜひ復活してほしいものです。

50 代になった頃、伊藤整の息子の伊藤礼という人（残念ながらもう鬼籍に入られました）が、70 才になってから自転車に乗り始めた話を読んで、また乗り始めました。しかし、若い頃登れた山も途中で挫折して、歩いて頂上までゆくのがやっとでした。しかし、その頃カミさんと四国 1 周したのが楽しい思い出です。

鉄道やバスを利用して、しまなみ海道を走ったり、道後温泉や四万十川源泉を訪ね、讃岐うどん食べまくりなど盛りだくさんでした。しかし、ここ 1 年、街なかなのに何度もコケたりして、運動神経に全く自信がなくなりました。できるだけスピードを出さないように安全運転を心がけております。

現在の愛車：ミニベロとクロスバイク

最近聞いた寺尾 聰さんの話が印象に残りました。オヤジ（宇野 重吉）の言葉が忘れられないとのこと。どう死ぬかではなく、いかに生ききるかが大事だと。残りの人生をできるだけ充実させたいものです。

星で繋がる素敵なご縁

舩木　恵
ふなき　めぐみ
科技大 94 年卒・航空

プラネタリウム勤務時、バイトの学生さん作成の私の似顔絵

都立科技大 航空宇宙システム工学科を 94 年に卒業しました。私の卒業時はバブルはじけて超氷河期の就職でした。「宇宙も女性も要らない」と、企業からは言われました。何とか宇宙に関係するプラネタリウム製造会社に就職しましたが、毎日 CAD。CAD。CAD。また急に工場を地方へ移転をする事になり退職しました。（この会社に入った一番の理由は、多摩地区にしか工場がない事だったのですが……。当時付き合っていた今の主人が多摩地区勤務。現在も多摩地区に居ます）

その後、プラネタリウムで星座解説等をする、施設運営会社へ転職しました。大好きな宇宙の事をお客様へ紹介する仕事は私には合っていたようで、とても楽しかったです。プラネタリウムでの夕暮れ、やがて満天の星た

ちがドームいっぱいに現れます。そうするとお客様が「うわぁ～～」と、感嘆するのです。この瞬間が一番好きでした。

さて、この星空解説の仕事で星座解説のイロハを伝授してくださったのが、師匠 小林悦子先生でした。小林先生は今はもう亡くなってしまったのですが、渋谷にあった「天文博物館五島プラネタリウム」で長年星空解説をなさっていて定年退職し、その後、私が入った会社で指導員として働いていらっしゃいました。先生の指導では「星座解説は『教えてあげる』という姿勢で解説してはダメよ。お客様と一緒に星空を楽しむのよ」とおっしゃっていたのが印象的でした。

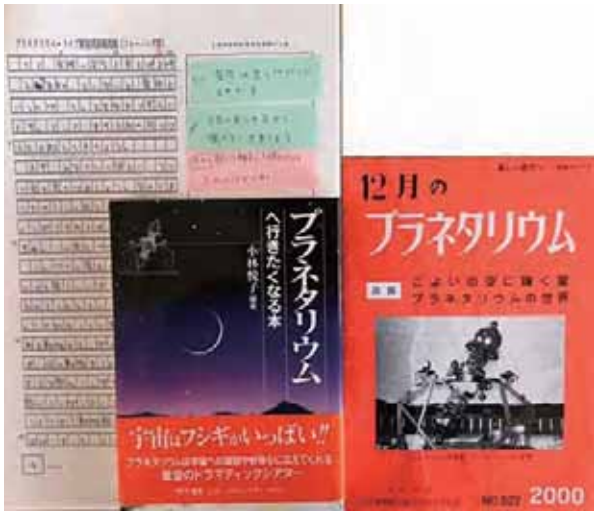
当時、大学合併の話はなかったので、先生は私には特に何もおっしゃらなかったのですが、後に、先生は都立大の前進、都立女子専門学校（物理化学科）ご出身だったという事に気が付きました。ここは本校理学部の母体の学校のようです。そういえば当時「都立が一緒…」という話を、先生と上司がしていたように思います。

私はその後、育児と仕事の両立で悩み、宇宙に関わる仕事からは離れ、女性が働きやすい化学分析関係の仕事をしました。現在は子育てが終了し、また大好きな宇宙に関わる仕事に戻りつつあります。

この年になりいろんな日々の事で、ご縁の不思議を実感することが多くなりました。母校とこの宇宙へ繋がるご縁を大切にしていきたいと思っています。

五藤光学社製プラネタリウム投影機器

BIM ライブラリ技術研究組合（BLCJ）
理事長　奥 田 修 一
都立大 1973 年卒　工・建築
BIM(Building Information Modeling)の
部材・部品オブジェクトの
標準化を進めます
https://www.blcj.or.jp/



小林先生に添削して頂いた星座解説原稿、先生の著書、
天文博物館五島プラネタリウムのパンフレット

大学での学びを社会で生かす

中村　汐里
なかむら　しおり

都立大 21 年卒・都市教養・社会学

写真は尾道 千光寺頂上展望台にて撮影

私が首都大に入学した理由は２つありました。

１つ目は社会学を学び、報道記者になりたかったからです。高校生の時、男性と女性の賃金格差が過去最低に縮まったというニュースを見ました。それでも月収で 10 万円弱の差があり、女性も「普通」に社会で活躍できると思っていた私は、世の中にはこんなに男女の格差があるのかと衝撃を受けた記憶があります。私自身も活躍をしたいし、そういう社会になってほしいと、報道記者を目指しました。

入学後は希望の社会学分野へ進み、特にジェンダーを中心に学びました。ところが肝心の就職は、実力不足やコロナ禍ということもあり、エントリーしていた報道各社は尽く選考落ち。結局入社したのは、当初は全く希望していなかった生命保険会社でした。

記者になることを目指して入学した私は、社会人になっても暫く現実を受け入れられずにいました。それが、思いがけないところで救われることになります。

コロナ禍で延期になった東京オリンピック・パラリンピックが 2021 年夏、社会人になり数ヶ月目のタイミングで開催されました。何気無く開会式の様子をテレビで見ていたのですが、肌の色が違う人々が同じ場所に集っていることに、鳥肌が立つほどの感激を覚え

たのです。

自分でも驚きました。オリンピックの開会式をテレビで見るのは初めてではありません。ですが、このように感動をしたのは初めてでした。何故なのかと考えた末、それは「ジェンダーを含む様々な多様性を学んだから」なのではないか、と気が付きました。

首都大に最初に入学した理由は、希望の仕事に就きたかったからです。でもそんなことよりも、学びを経て、多様性の尊さに感激できる人間になれたことの方が、私の人生にとって遥かに大切なことなのではないでしょうか。そんな風に思えて、心から首都大に通って良かったと思えた日でした。

首都大に入学した２つ目の理由は、大学祭実行委員長になりたかったからです。入学後は迷わず大学祭実行委員会に所属し、2018 年に開催された第 14 回みやこ祭りで、委員長を務めさせていただきました。所属学生は 192 名、これだけ多くの仲間と関わることは社会人になってもなかなかありません。非常に濃密な時間を過ごさせていただきました。

社会人も 5 年目になり、昨年度からサブリーダーを任されるようになりました。自らも営業活動をしながら、3 名の部下の活動指導をしています。大学祭実行委員会のように、100 名単位の先頭に立つ機会はなくなってしまいましたが、小さな組織でもマネジメントが出来ることに喜びとやりがいを感じます。

元はと言えば、決してやりたくて選んだ仕事ではありませんし、残念ながら全ての人に歓迎される仕事でもありません。それでも続けていると、信頼してくれる上司、一緒に頑張れる仲間、応援してくださるお客様方に出会えました。今となっては、人の顔が見える仕事を選んで良かったとつくづく感じています。

社会をすぐに大きく変えることは誰にもできません。それでも私は、まずは私自身が自分らしく、自分の足で人生を歩むところから、小さい世界から社会がより良いものとなるような何かになれたらと願うばかりです。

職場での打ち合わせの様子

プレミアム・カレッジをさらに繋ぐ

大和田　明宣
おおわだ　あきひろ

プレミアム・カレッジ 1 期生
東京都立大学プレミアム・カレッジ
同窓会会長

東京都立大学プレミアム・カレッジ同窓会（以下 TMUPC 同窓会と略）は、2024 年末の時点で設立 3 年が経過し、修了生と教職員合わせて 125 名が会員として登録されています。TMUPC 同窓会の設立の経緯とこれまでの主な活動内容についてご紹介したいと思います。

プレミアム・カレッジ 1 期生が苦労しながら最初の修了論文に目途が付きつつあった 2019 年 12 月に、有志によって謝恩会の開催と同窓会の設立に向けて検討が開始されました。謝恩会は、当時の上野学長始め先生方の出席を確認し、当時キャンパス内にあったルヴェソンヴェール南大沢にて 2020 年 3 月 19 日開催で準備を進めておりましたが、コロナ禍の発生により残念ながら 2 週間前に開催を断念しました。しかしながら同窓会の設立に向けた検討会はその後も継続されました。同窓会は多くの学校に当然のように存在し、活動内容も多くが同じような内容でありますが、新たに同窓会の設立を目指す中では、その目的と組織の形態をどうするかで様々な意見があり、2022 年 4 月の設立総会開催まで 2 年を要する結果となりました。

第 1 回同窓会員の集い（懇親会にて）2023 年 6 月

TMUPC 同窓会の活動は、同窓会主催のイベントと各同好会・サークル活動の大きく二つから構成されております。主催イベントはプレミアム・カレッジ修了後の“学びの継続”と期を越えた懇親を目的として、春の同窓会員の集いと秋の同窓会セミナーを毎年開催しております。プレミアム・カレッジの先生方に講演をお願いすると共

に、講演の後の懇親会で親睦を深めております。いずれの企画も会員の方に好評を頂いております。

また、同好会・サークル活動として現在 5 つの団体（ゴルフ同好会、縁 joy! 日本書紀の会、日本をもっと知りたい会、宇宙の謎にせまる会、山歩の会）が登録されており、会の目的に沿った活動を気の合った仲間で進めています。

松本先生の講演（プレミアムカレッジ特任教授）
2023 年 11 月開催

第 2 回同窓会員の集い（上野元学長の講演）
2024 年 6 月

TMUPC 同窓会では、会員の方からの寄付によってホームページ（https://tmupc-aa.com）の運営も行っています。ホームページでは各活動の告知や結果の報告に加えて、修了生でも参加可能な特別講座やゼミナール OB 会の情報など、情報センターとしての機能を構築しています。設立からの 3 年間は、活動の柱をどの様に考えるかについて模索しながらの期間でした。その中で“学びの継続”をキーワードとする事でしっかりした柱に支えられながらの活動となりつつあります。次の 3 年間でさらに多くの会員の共感を得られる同窓会となるべく、前進して行きたいと考えております。

TMUPC 同窓会ホームページの QR コード

社会福祉法人 八王子いちょうの会
理事長 山川 徹
都立大 1974年卒 法・政治
http://www.ichounokai.or.jp/
TEL(042)673-8055 FAX(042)673-8054
E-mail：yamakawa@ichounokai.or.jp

- より深い創造的な生き方を応援するために -

一般社団法人　甲府心理臨床研究所

所長・代表理事　篠原　恵美　首都大大学院博士後期課程
人文科学研究科人間科学専攻心理学分野　2015 年修了

○カウンセリング・心理療法
○スーパーヴィジョン
○心理学セミナー・定例研修会

〒400-0858　山梨県甲府市相生 1-2-31-502
TEL＆FAX　055-298-6531
Email: kofushinri@atbb.ne.jp
URL: http://kofushinri.jp

QR コードで読み取ってご覧下さい

同窓生訪問インタビュー

成人後の人生の原点は都立大にあり

東京大学先端科学技術研究センター特任教授
福島　智 さん

ふくしま・さとし
都立大　1987 年卒　人文学部教育学科

9 歳で失明、18 歳で聴力も失い、全盲ろう者となる。盲ろう者としては、日本初の大学進学者となる。1996 年 7 月都立大学人文学部助手、同年 12 月金沢大学教育学部助教授に就任。2023 年度から現職。盲ろう者で大学の正規教員に就任したのは世界初とされる。

― 先生がモデルの映画『桜色の風が咲く』はどんな経緯で制作されたのでしょうか。

松本准平監督が作った別の映画の試写会が東大先端研のホールで行われましたが、その後の座談会で私が「きれいに作りすぎたのでは」などいくつか感想を述べました。その後、監督は私の母・福島令子が書いたエッセイ『さとしわかるか』を読んで、「これは映画になるのではないか」と思ったのがきっかけです。

脚本化は難航し 20 数バージョンに及びました。私も不適切なところがないかなどをチェックしましたが、予算の制約もあり、時代考証の面ではおかしなところが残ってしまいました。フィクションと実話が半々となっていますが、私としてはそこそこの出来栄えになったと思っています。私の映画ではありますが、主人公は母です。母の視点から見た私を描く映画です。

― お母様が「指点字」を考案されたことは映画にも出てきますが、きっかけを教えてください。

まだ耳が聞こえていた頃、母は点字を使っていました。家族が点訳できれば急ぎの時に無理を聞いてもらえますので頼んでみたところ、母も点字のタイプライターを練習し、これが素地となりました。

1981 年 3 月のある日、台所でのことでした。タイプライターのイメージが手指に重なったのか、母が指を 6 つのキーに見立てて「さ、と、し、わ、か、る、か」とタッチしたのです。それが私に通じた。これが始まりです。なぜ私がわかったのかは不思議ですが、若くて頭が柔らかいということもあったのかもしれません。

指点字は速記と同様、聞こえた音声をそのまま言葉に変える方法です。以前は聞こえていた私に向いていた手段でした。元々点字は書き言葉ですが、書き言葉をコミュニケーションに利用するという発想の転換、飛躍があったのです。

― 1983 年、都立大に入学されましたが、盲ろう者が受験できる大学はどのくらいあったのでしょうか。

担任の先生が指点字を使って進路指導をしてくださったものの、そもそも将来のことは何も考えられない状態でした。大学に入っても卒業できるのか、その後どうなるのか、心配が渦巻いていました。先生は「そういうことは誰にもわからないから、やっていきながら考えよう」と言ってくれました。全盲ろう状態になっており、様々なことが押し寄せてきますので、勉強しようという雰囲気ではなかったですね。

1982 年 1 月、現役の時に共通一次試験を受けましたが、これは練習のつもりでした。 1 年浪人してどこを受験するかとなったとき、ボランティアの確保などを考えると、首都圏でないと現実的に難しいだろうとなりました。

1981 年 4 月に都立大法学部に入学した M さんという視覚障害者がいましたが、私はできれば人文系がよいという気持ちがありました。当時は 2 年生の時に専攻を決めることになっていましたが、大学からはできれば最初から決めてほしいと言われました。

本当は外国文学や哲学をやりたいと思っていたのですが、担任の先生からは「文学や哲学では食っていけないだろう。受けるのなら法律か教育がいいと思う」と言われていました。先生が、将来役に立つだろうということで、私が授業を受ける様子とか体育でトランポリンをしているところなどをビデオに撮っておいてくれました。後に指導教員になる茂木俊彦先生がそれを見て大丈夫でしょうと言ってくれました。他の先生方も、茂木先生が言うならいいだろうと OK してもらいました。受験方針が構想されたのが 82 年の 6 月、二次試験を受けさせてもらえることが決まったのが 9 月です。盲学校の先生方は既に合格したかのように喜んでくれましたが、私自身はすごいプレッシャーを感じていました。

― 都立大の学生時代にお世話になった先生についてお聞かせください。

茂木先生は非常に冷静で適切、フェアな方でした。金沢大学に就職するとき、東大に移るときも茂木先生の知り合いの方が声をかけてくれて実現したという流れになります。山住正己先生は教育原理を担当されて、水曜日の一限目なので私は眠かったですが、先生はいつも元気でした。坂元忠芳先生は学習論が専門ですが、すごい読書家でした。社会教育学の大串隆吉先生にも

たいへんお世話になりました。教育行政の黒崎勲先生は博士課程のときにゼミをとって、それが後に私が障害学と呼ばれる学問領域に関心を持つことに繋がりました。「能力主義と教育」というテーマのゼミで、私にとって非常に興味深いものでした。教育哲学の小沢有作先生は私にとって最も「大学に来たな」と思わせてくれる授業でした。じっくりと考えるということ、本を読んで議論するだけでなく自分の中の宝を掘り当てることを大事になさっていました。

いまお伝えした6人の先生方によって教育学研究室が作られていて、大学院に進んでからも総合ゼミというのがあり、全教員と院生が垣根なく、お互いが書いた本や論文を題材にして批評・批判をし合うのですが、私にとっては深い学びに繋がる場でした。

― 学生生活を振り返って特に印象的なことは何でしょうか?

当時は1・2年生のときに語学のクラスがありました。人文学部のH（Humanities)、1年生の1、名字が後ろの方なのでB、略してH1Bというクラス名でした。入学当初は有償の指点字通訳者に来てもらっていましたが、男子同級生が「福島君は点字を組み合わせて話しているんだってね」というのでそうだと答えると「では僕たちがそれを覚えればいいんだね」と言ってくれました。私は壁が破れたと感じ、紙に書く点字と指点字のミニ講習会を開いたところ、40人全員が基本的なことを覚え、半分強の人が指点字もできるようになりました。ある女子学生が点字で詩を書いてきてくれましたが、その中に生涯で最も好きな詩の一つである吉野弘の「生命（いのち）は」がありました。久しぶりに美しいものに出会ったなと思いました。

― 障害者が大学で学ぶにはまだまだハンディがあると思いますが、現状をどう見ておられますか。

2016年施行の障害者差別解消法により、障害を理由に大学が受入れを拒否することは、基本的にはできない時代にはなっています。ただこの法律は実体法ではなく理念法で、罰則はありません。しかも当事者が「これはおかしい」と言わない限り、大学側が何もしなかったとしても問題が発生することはありません。このあたりがまだ不十分だと思います。

全体的には改善されてきたと思いますが、個別具体的な問題を見ていくと、障害だけではなく、外国人学生などマイノリティの問題がまだまだあると思います。多様性、ダイバーシティということがよく言われますが、ダイバーシティとインクルージョン（包摂）はある程度緊張関係が必要だと思います。

― 点字ディスプレイなど電子支援技術の発達についてはいかがですか。

点字ディスプレイはニュースを見たりメールを送受信することができるのですが、1台60万円もします。私は大学の研究費で購入できましたが、個人で買うのは大変です。技術があるということと、それがエンドユーザー（障害者）に届くかどうかというのは別問題です。ほとんど使いものにならない技術が多いのはなぜかというと、技術者がアイディアの段階でユーザーのニーズを汲み取っていなかったり、通常行われる顧客のニーズ、マーケット調査が行われていないからです。いいものを作って世界を対象にすればマーケットはそこそこあるので、本当に使えるものなら売れるし、そうすればコストも下がり価格も下がっていくはずです。

― 点字通訳者や通訳介助者をはじめ、障害者をサポートする方々の現状と今後の展望はいかがですか。

正式には指点字通訳・介助者といいます。盲ろう者には通訳だけでなく移動の介助と状況の説明も必要です。通訳の中身も複合的・複雑ですので、2人で交代することが多いです。ちなみに今日の2人は大学が人材派遣会社と契約するという形で、そこに登録している方です。金沢大学にいるときにその原型ができて、東大に移ったときに充実させてもらいましたが、この状況を作るのに大変苦労しました。残念ながら他の大学ではそういう例は広まっていません。

― 最後に、現役の都立大生へのエールと同窓会へのメッセージをお願いします。同窓会は、都立大学の発展のためにどのような役割を果たせばよいでしょうか。

大学は何かを教えてくれるところ、何かを与えてくれるところではなく、自分で見つけ、学んでいくところだと思いますので、大事なことは3つです。一つは自分が専攻する本だけでなく、たくさんの本を読むことです。もう一つは多くの、留学生も含めていろんなタイプの人に会い、話すことです。3つめは自分が本当に興味を持てること、好きなことを勉強だけでなく課外活動も含めて、見つけてほしいと思います。

同窓会の役割について私が今すぐ言えることはないのですが、今日のインタビューのように、卒業生が現役の学生に何かを伝えることは同窓会の大きな役割だと思います。逆のベクトルもありますが、世代を超えた同窓生の繋がりは、いろんなきっかけを提供してくれると思います。

第38回青鳩祭を終えて

三浦 琉奈（作業療法学科 4 年）
第 38 回青鳩祭実行委員長

東京都立大学荒川キャンパスでは、健康福祉学部の学生が保健医療についての高度な専門知識と技術、現場での実践力を学んでいます。荒川キャンパスは、東京都立医療技術短期大学が設立された 1986 年から医療系学部のキャンパスとしてこの荒川区に根差し、パラスポーツの推進や地域活動団体、ボランティアを通じて、荒川区地域と密接に関わっている歴史あるキャンパスです。

そんな荒川キャンパスでは毎年、大学祭「青鳩祭」が開催されています。しかし、ここ数年の青鳩祭はコロナウイルスの影響により、大幅に規模が縮小され、活気を失っていました。ようやく一昨年より、3 年ぶりに対面方式で開催されましたが、コロナ禍前の学生の熱気と地域の皆様の盛り上がりはありませんでした。そのような状況から脱却し、学生が思い切り楽しめるだけでなく、地域の皆様との絆を深められる青鳩祭を作り上げたいという想いを胸に抱き、第 38 回青鳩祭実行委員会は活動を開始しました。

第 38 回青鳩祭のテーマは、荒川キャンパス全体を“キャンバス”に見立て、学生、教職員、荒川区地域の皆様が持つ多彩な色で青鳩祭を彩って欲しいという願いから、「彩（いろどり）～青鳩キャンバスを飾ろう～」に決めました。来場者数 3000 人を目標に掲げ、従来以上の盛り上がりを目指して広報活動、出展団体の拡充、来場者参加型企画の立案に力を注ぐこととなりました。

まず、広報活動の強化として、初めての試みであるチラシポスティングを行いました。実行委員 1 人 1 人が 1000 部のチラシを手に持ち、地域の皆様に直接、青鳩祭を伝えるために、大学周辺を歩いて 1 枚ずつ配布しました。1 日 4 時間以上歩き続ける日や、雨の日には濡れながら配ることもありました。その際に、「こんな近くに大学のキャンパスがあったなんて知らなかった」、「絶対行くから頑張ってね」と地域の方からお声がけいただき、とても励みになりました。

並行して、出展団体との企画の打ち合わせやイベント準備を進めました。今年度は多くの荒川区地域の皆様や南大沢・日野キャンパスの団体の皆様にご参加いただき、多彩なプログラムが用意されました。特に注目があったのは「青鳩展」です。開催時期が芸術の秋真っ只中ということで、学生・一般の芸術を愛する方々からも作品を募集しました。他には過去の青鳩祭で使用された装飾品の展示や、副実行委員長が考案したキャラクター「わんぷくちゃん」の作品が展示されることとなりました。

地域の皆様と作り上げた青鳩展の「わんぷくちゃん展」

準備期間中、たくさんの課題や困難もありました。実行委員は授業や実習、就職活動との両立に苦労しながら準備を進めました。青鳩祭が近くなると深夜まで作業が続き、日付を超えることも珍しくありませんでした。しかし、実行委員全員が積み重ねてきた努力を無駄にしないように、素晴らしい青鳩祭を完成させたい一心で、最後まで妥協することなく取り組みました。

そして迎えた青鳩祭当日。最大規模の企画と出展団体が揃い、毎年 900 人程度の来場者数は、史上最多の 1856 人に達し、実行委員全員の努力が実を結びました。来場者の方からは、「大学祭が近くで開かれていることを今まで知らなかった。毎年来たい」「様々なイベントがあって楽しかった」といった感想が寄せられ、大きな手応えを感じることができました。

第 38 回青鳩祭の一大イベントとなったのは「大抽選会」、「謎解き」、「青鳩展」でした。大抽選会では、ありがたいことに多くの企業様からご協賛いただき、総勢 100 名以上に当たる豪華景品が用意され、抽選番号が

青鳩祭で 1 番の盛り上がりを見せた大抽選会

読み上げられるたびに大きな歓声と熱気に包まれました。また、謎解き企画では子どもから大人まで多くの来場者の皆様に実施していただき、キャンパス内を巡りながら楽しむ姿がみられました。さらに、「青鳩展」では老若男女問わず、多くの方が作品に見入っている様子が伺えました。他には、荒川キャンパスの学生がそれぞれの学科の専門性を生かした学科ランドをおこないました。血圧測定や車椅子体験、CT 室見学、授業で作成した作品展示、キャンパスツアー、受験相談など、健康福祉学部ならではの出展となりました。

第 38 回青鳩祭を通じて、学生たちの情熱と地域の皆様の協力が一体となり、荒川キャンパスが地域と繋がる瞬間を感じることができました。目標として掲げた来場者数 3000 人には届きませんでしたが、それ以上に大きな成果と手応えを感じることができました。青鳩祭は学生と荒川区地域を、人と人を繋ぐ大きな役割を果たします。これからも青鳩祭が学生と荒川区地域を結ぶ架け橋であり続けるために、青鳩祭実行委員会はさらに努力を重ねていきます。来年はさらに多くの笑顔と交流が生まれる青鳩祭となることを前委員長として願っております。

最後に、第 38 回青鳩祭の開催にあたりご協力いただいた地域の皆様、大学関係者の皆様、ならびにご来場いただいた皆様に厚く御礼申し上げます。今後とも、どうぞよろしくお願い申し上げます。

看護学科による NS ランド

健康福祉学部生による模擬店出店

大学の寄附金メニューがリニューアル　東京都立大学寄附金担当

2024 年 10 月に都立大の寄附金メニューをリニューアルし、学生支援や教育研究支援等の支援先をより具体的に指定してご寄附をいただけるようになりました!

メニューに無い取組みやご出身の学部・部活動等へのご寄附も、もちろん可能です。メニューに無い使途へのご寄附を希望される場合は、「その他」のメニューから「応援メッセージやご希望等」欄にその旨をご記載ください。

都立大学への寄附画面（PC 版）

オンライン上でクレジットカードや銀行振込により 1,000 円からご寄附をいただくことが可能で、クレジットカードや口座振替により、毎月又は毎年決まった額をご寄附いただくことも可能です。

また、当法人へのご寄附は、確定申告により寄附金控除を受けることができます。さらに、10 万円以上のご寄附をいただき掲載許可のご承諾をいただいた場合は、南大沢キャンパス本部棟 1 F にございます寄附者銘板に顕彰させていただきます。

＜寄附メニュー＞＜学長メッセージや活用状況＞

「都立大　寄附」で検索いただくか、右記 QR コードからメニューをご覧ください。

卒業生の皆様の温かいご支援をいただき、ありがとうございます。今後ともよろしくお願い申し上げます。

同窓会からのお願い　同窓会が力を入れている学生支援（大阪公立大学戦や大学祭支援）などはこの寄附金メニューからのご協力お願いします。同窓会活動を支える会費・維持寄付などは引き続きご協力をお願いいたします（45 頁参照）。

帰国留学生報告

木須　絢香
（きす　あやか）
都立大院 24 年修了・人文

昨年度、人文科学研究科人間科学専攻日本語教育学分野博士前期課程を修了しました、木須絢香と申します。1 年間のタイ留学中に行った課外活動で 2023 年度スポーツ・文化活動賞を受賞し、このたび留学体験記を寄稿する機会をいただけたことを光栄に思います。

私がタイ留学に興味を持ったのは、短期プログラムでタイの様々な教育機関を訪問したのがきっかけでした。訪問先の一つであったチュラロンコン大学は首都バンコクの中心地にあり、タイの東大とも呼ばれる歴史ある大学です。学びたい分野のカリキュラムが充実しているのはもちろん、宿泊した国際寮の安全面や衛生面、周辺施設の利便性にも魅力を感じ、いつかここに留学したいと考えていました。大学院進学後、本学の交換留学制度を利用して念願のチュラロンコン大学留学が実現しました。

留学中は英語教師養成の修士課程に所属し、タイ人、ミャンマー人、中国人のクラスメイトと共に過ごしました。私は教育工学に興味があったため、PC やプロジェクタなどの ICT 機器を活用した授業づくりに関する講義を中心に受講しました。テスト問題用に音源や画像を編集したり、プレゼンテーションソフトウェアの機能を組み合わせて学習用ゲームを作成したりする技術を学び、学習者のレベルや目的に合わせた独自の教材を作れるようになりました。また、指導案作成と模擬授業をする課題では、英語教育を通して学習者がメディアリテラシーも身につけられるようなテーマやタスクを設定し、日本で教員免許を取得した英語科と情報科の内容を関連づけることを意識して取り組んでいました。タイでの英語教育は「外国語を教える」という点で日本での英語教育や日本国外での日本語教育と似ているため、将来のキャリアに活かせる学びがあったと感じています。

東南アジアの中心地であるバンコクに住んでいたおかげで、多くの国際的なイベントに参加することができました。特に、日本代表として参加した国連 SDGs フォーラムやアジア世界模擬国連といったユースカンファレンスは、社会問題に対して積極的に取り組む同世代と出会う良い機会でした。イベントで仲良くなった人たちと SNS を交換し、彼らの活動報告を見て良い刺激を受けたり、今後のイベントや奨学金などの情報を交換したりして、今でもその繋がりを楽しんでいます。他にも、ASEAN 諸国のデジタルリテラシーについての報告会や、世界中から企業が集まる教育工学の展示会にも参加し、現状の課題やそれに対する取り組みを身近に感じることができました。

1 年間のタイ生活を終えて振り返ると、臨機応変に対応する力や、問題を未然に防ぐ力が鍛えられたと感じます。初めはタイ人の時間感覚や計画の柔軟性に慣れず、予定変更のたびにストレスを感じたり、酷い大気汚染で体調を崩したりすることがありました。しかし、普段から時間や心に余裕を持ち、起こりうるトラブルへの対策や代替案を考えながら行動することで、心身ともに健康で充実した留学生活を送れるようになりました。また、タイ語初心者として理解できない言語に囲まれて生活する中で、外国語学習者や日本に暮らす日本語非母語話者が感じる楽しさや大変さに共感できるようにもなりました。

このタイ留学での学びを活かし、現在はダイヤモンド・プリンセスというクルーズ船で日英翻訳とグラフィックデザインの仕事をしています。約 70 ヵ国から集まるクルーと共に、6 ヶ月以上にわたり船で生活しながら働く日々は、自身をさらに成長させてくれる刺激的な時間です。今後、他の仕事や研究をする機会が訪れた際にも、自分の好奇心を大切に挑戦を続けていきたいです。

タイ・チュラロンコン大学

国連 SDGs フォーラム

皆が集う広場

TMUプラザ

1980 年度入学 SIB クラス会

昔の東京都立大学は、各学部に複数のクラスがあり、成り立っていました。SIB は、理学部（Science）の 1 年 B 組、物理科と化学科の混成チームでした。

1980 年度の SIB は、クラスで T シャツを作ったり、クラス対抗綱引き大会で優勝したり、大学祭の模擬店を唯一 24 時間営業したり……。また、レガッタ大会や演劇フェスティバルにも参加、当時から結束の固いクラスでした。

そんなクラスの同窓会を 2024 年 7 月 13 日（土）、東急東横線都立大学駅前にある日本料理「ひのや」にて、なんと 38 年ぶりに開催しました。

クラス 36 人のうち、17 名が参加。理系の常で、大学教授や教員、メーカーに就職している人が多いものの、途中で都立大を辞めて医学部を再受験し医者になった人、テレビ局でディレクター・プロデューサーを務めた人、女優になった人、画家になった人と多種多彩。米国オレゴン州からのリモート参加もあり、会は大いに盛り上がりました。そして、お互いの今後の健闘を祈り、2 年後の再会を約束して解散しました。

解散後、話の尽きない 10 名は、都立大学八雲キャンパスの跡地（現めぐろ区民キャンパス）と理・工学部の深沢キャンパス跡地（現住居マンション）を訪問。当時の面影が残る銀杏並木に触れ、若き日の想い出が蘇り、明日からの活力が湧いて来ました。

コロナ禍でクラス会の開催を見合わせていた方々、卒業してまだ一度もクラス会を開催していない方々、是非クラス会を開催して、心の糧としてはいかがでしょうか？

安藤　靖（都立大 84 年卒・化学）

1980 年度 SIB で集まったメンバー

1974 年入学 JE1C 入学同窓旅行

1974 年入学、法学部（J）の名字がマ行以降の者と経済学部（E）の名字がア行以降の者が集まったクラスは、JE1C と呼ばれた（1 年 C 組らしい）。半世紀以上も前になってしまった。

約 40 人のメンバーのうち女性は数えるほどしかおらず、男性はキャンパスよりも雀荘やパチンコ店の方が見つけやすい者が十数人いた。彼らの多くは卒業後も酒席を中心とした付き合いが続いていたが、今から 20 年ほど前、温泉旅行の話が持ち上がったかと思ったらトントン拍子に話が進み、伊豆高原の坐漁荘という高級旅館一泊旅行が実現した。

それ以来、コロナ禍の時期を除いてほぼ毎年秋、東日本の温泉旅館一泊旅行が続いている。今まで行ったのは箱根、秋保（宮城）、那須、塩原、草津、石和、鬼怒川、五浦（茨城）、甲子（福島）、別所（長野）、裏磐梯五色、伊香保、伊豆長岡といったところ。

2024 年は 11 月 10 日～ 11 日、越後湯沢温泉に 8 人が集まった。毎回 7 ～ 10 人ほど参加するので、よく続いていると思う。

幹事は持ち回りで、ほぼ全員が一度は経験している。幹事により綿密な予定を組んで観光地をいくつか回る年もあれば、観光予定を入れずのんびりと過ごす年もある。最初の数回は電子メールや LINE が広く普及する前だったので、旅館からパンフレットを取り寄せ、郵送で参加の諾否を尋ねていた。幹事とは別に毎年その労をとっていただいた荒井久幸さんが 2020 年に逝去されたのはとても悲しく残念な出来事だったが、他の面々はおおむね元気に歳を重ねている。

メンバーは酒豪揃いだが、さすがにここ数年は健康にまつわる話題が多くなった。去年・今年で古稀を迎えた者が大半となったが、少なくとも喜寿まで、できれば傘寿まで続けられればいいなと個人的には思っている。

山下 日出之（都立大 78 年卒・法律）

1974 年入学 JE1C の参加メンバー

1972 年入学法学部卒業同期会

よく晴れた 11 月末の土曜日の午前 11 時ごろ、都立大学駅近くのイタリアンレストランで、1972（昭和 47）年に入学し、1976（昭和 51）年以降に法学部を卒業した 15 人が集まった。約 50 年を経て初めて開かれた同期会である。

昨年の 10 月頃、N くんと食事をして、大学のクラスメイトがどうしているかなぁ、という話になり、法学部の同期で集まったらどうだろうかと思った。まず、4 人の発起人を立て、それぞれの知り合いに声をかければ 10 人くらいになるだろうと考えた。ところが、事は思ったようにはならなかった。50 年ぶりに同期会をやるということは、そういうことか！ 50 年という歳月の重さを痛感した。五里霧中、暗中模索の中、都立大学同窓会事務局に連絡してみたところ、2003 年に発刊した同窓会卒業名簿があり、写しを送れますと言われた。

急に道が開かれた。昭和 51 年から昭和 54 年までの卒業生名簿を送っていただき、同級生を探し出し、同期会の案内を約 40 数名に送った。宛名不明で戻ってきた郵便もあった。ご都合が悪く参加できない方もおられた。名簿に掲載されていなかった方々に連絡を取ってくれた方たちがおられて、思いがけず同期会開催の呼びかけが広がり、参加者が少しずつ増えていった。体調が悪く参加できないが、在学当時の講義目録を見てほしいと送ってくれた方もおられた。同窓会事務局に、在学当時および前後の都立大学同窓会会報を閲覧させていただいた。その中から当時を思い出す写真と記事を選んで小冊子にして、参加者に配布した。

3 時間余り、料理を食べ飲みながら、都立大時代の思い出、人生の紆余曲折、仕事との偶然の出会いなどが話された。手足が不如意にもかかわらず参加した者もいた。TMU のネーム入りボールペンを参加者にプレゼントしてくれた方もおられた。

以下、参加者のメッセージ。たくさんの方々にお会いできた / 本当に楽しかった / 連絡先の交換や近況の報告を聞けてよかった / 年数を経てお互いの人生を分かりあえるっていいものですね /（JE1C の）幹事になります /48 年ぶりの再会、感無量でした /1976 年以来、皆さんにお会いして、なつかしい時間を過ごしました / 是非、第 2 回目の再会を望む / 長い長い中身の濃い一日でした / これからのことを見直すヒントになりました / 発起人 4 人で始めたことが、参加者皆さんの同期会になっていったことがうれしかった。

1972 年入学法学部卒業同期会発起人　西村 悟
（文責）重永睦夫、中路博喜、熊谷 哲郎

（1972 年入学し、1976 年以降に法学部を卒業した方がおられましたら、都立大同窓会事務局または 72 同期会事務局 :yakumo72mokumoku@gmail.com までご一報ください。）

1972 年入学法学部卒業同期会（48 年ぶり）の参加メンバー

「日立八雲会 2024」開催報告

「日立八雲会」は東京都立大学および首都大学東京を卒業し、株式会社日立製作所および日立グループ会社に所属する現役社員ならびに退職された OB・OG で構成され、会員相互の親睦を図り、母校および日立グループの発展に貢献することを目的としています。

日立八雲会の掛軸

2019 年までは、都内の会社施設などを会場として、約 40 名の会員が参加して盛大に開催していましたが、コロナ禍の影響で 2020 年および 2021 年は残念ながら開催できませんでした。その後、2022 年、2023 年はなんとかオンライン形式で開催しました。しかしながら、会員からは対面形式での開催要望が強く、2024 年は幹事会での検討を積み重ね、5 月 23 日（金）にホテルグレイスリー銀座の「SAKURA 銀座」において、５年ぶりに対面形式での日立八雲会を実現することができました。

当日は、2024 年度入社の新入社員を含めた 2020 年度以降に入社した新会員 11 名、さらに 1970 年代に東京都立大を卒業した OB まで幅広い年代から 27 名の方に参加をいただきました。新会員の紹介、採用活動状況の報告、参加会員各位からの近況報告とコロナ禍での閉塞された期間を埋めるかのように、限られた時間でしたが和気あいあいとしたひとときを楽しみました。最後には記念撮影が行われ、来年また元気な姿で会えることを誓いあって盛会のうちに散会しました。久々

に顔を合わせた時間が物足りなかった方々は、そのまま銀座の街に消えていきました。今回、改めて対面形式での交流の重要性を認識すると同時に、本会を継続していく重要性を感じました。

これからも東京都立大学の卒業生をたくさん迎え入れ、これまで以上に本会を盛り上げていくと同時に、この同窓のつながりが仕事をする上でのネットワークとしても活かせることを期待しています。

寺前　俊哉（都立大 92 年卒・機械）

日立八雲会 2024 の参加メンバー

八雲展グループ

1．八雲展グループとは

都立大学の前身は旧制府立高校である。学制改革により高等科が都立大学、尋常科が都立大学附属高校となった。旧制府立高校 50 周年記念行事として高等科 OB が中心となり第一回八雲展はスタートした。その後、都立大附属高校卒業生に引継がれていたが、21 回展より都立大卒業生が加わることになり、以後現在まで共同で開催され本年が 43 回展である。「八雲展」の名称は当時の学校の立地「八雲が丘」より命名された。

2．主たる活動状況

学生時代に美術部に所属していた人、卒業後趣味で絵を描き始めた人、そして退職後に絵を描き始めた人など、スタートはいろいろだが、美術を趣味とされた方々の集まりである。最大の催しが年一回の八雲展となる。出品作は絵画（油絵、水彩、墨彩、パステル）、版画、デザイン、工芸、彫刻、刺繍等多岐にわたる。都立大卒の方々は絵画がほとんどであり、また附属高卒の方の多くは美術学校を経て出品されているので、アマプロ入り混じって他では見られない個性的な作品展である。すでに 90 歳を越えた高齢の先輩たちが元気で独創的な作品を出されている。この日はお互い久し振りにお会いするので、健康確認や作品感想等の話題に花が咲く集まりとなる。また、観覧に来場される同窓生も多く、同期の方々と久し振りにお会いして、夕方には同窓会となる。メンバー個別の活動としては、個展、グループ展、あるいは勤めていた官公庁の作品展、そして全国公募展へ出品される方もいる。また、今までの活動では同窓会表紙への協力を 6 号から 17 号まで行ってきた。中でも首都大学卒の岩下慎吾さんの作品は 2 点採用されている。

八雲展会場入り口

会場内の風景

八雲展に集まったメンバー

3．ホームページについて

作品展に来られない方、そして多くの方々に八雲展を知って頂くために、以前よりホームページの充実化を図ってきました。「八雲展」で検索すれば、会の概略、

メンバーの紹介、名前より 10 年前からの展示作品等を見ることができます。

4 . 八雲展の実施要領と参加者募集

開催時期・場所は毎年 5 月連休後より 6 日間、品川区立 O 美術館（JR 大崎駅前ニューシティー 2 号館）にて入場料無料で行っている。しかし、最近は高齢化により出品されない方もおり、都立大卒の会員は 14 名と減少傾向にあります。そこで出品作分野を美術全般に加え、本年から書道、写真も加えることにしました。また、若手による会の活性化を目指し、現役学生の出品料を無料として参加を期待することになりました。

現在はさらに会員増を望んでおります。作品分野の経験は問いませんので、出品にご興味をお持ちの方の参加をお待ちしております。迷われたら先ずは八雲展を見て頂けたらと思います。

連絡先　16 期　機械　今井信一：03-3471-9280
saurora1059@nifty.com
26 期　建築　中村　繁：
suisaiga0982@gmail.com

東京都立大学・首都大学東京 自動車部 OB & OG 会

私達の会は体育会自動車部の OB&OG 会として、2013 年に再建いたしました。

自動車部は 1958 年（昭和 33 年）に設立され今年で 66 年になります。OB & OG 会は 50 年ぐらい前には時々 OB が集まるような会でしたが、その後、自然休会となっていました。自動車部の歴史を見ると、部員が一番多かった時期は、いわゆる団塊の世代が在学していた 1967 ～ 1972 年頃で、新入部員も 20 名以上で部員も各学年 10 名以上は在籍していました。その頃は、カローラやサニーが発売されるなど、自動車に乗りたい、持ちたいという憧れがあった時代で、免許を手軽に取れるという自動車部の呼びかけに新入生が集まるという背景もありました。

その後は次第に減少し、学年で数名～ 5、6 名程度で推移してきました。

団塊の世代が退職し、再び同期の集まりが盛んになり連絡を取り合うなどをして、OB & OG 会を再び作ることになり、2013 年に結成し、活動をしています。

現在の活動は講演会、ドライブ会、会報の発行、ホームページの維持とともに自動車部への支援を行っています。総会は毎年 7 月に行い、会員の近況を交えさらに年代を超えた交流を図るとともに、現役の活動状況を報告してもらい、さらなる活動の興隆となるよう意見交換を行っています。その時に気なるのはやはり府大戦、現在は阪公戦の結果です。

今年の総会は 7 月 20 日に大学構内のトムの食堂で行い出席者は会員 21 名が出席し、また自動車部員 9 名も出席しました。活動報告や今後の計画などが承認された後、総会の一番の内容は、今年製作した勝利校への優勝カップ「勝利の轍杯」を現役部員が頑張って勝利し持ち帰ったことです。

勝利の轍杯

このカップを寄贈することにしたのは、数年前に東京で行った府大戦を観戦した時に都立大が勝ったのですが、成績発表があり「都立大の勝利、良かった乾杯!」のあと宴会し、それで終わり。どうもなにか形の残ることも無いなという思いが残りました。自分の現役の頃から同じパターンが続いていたのです。

その後の幹事会で勝利した学校に何か記念となるような形のある物を贈ったらどうかという相談をしたところ、表彰状かカップ、トロフィーなどの案がありましたが、やはりカップだろうという事で検討することになりました。しかしその後コロナ感染防止で府大戦が中止となり、その話も立ち消えとなりました。

コロナ感染も収束し府大戦が阪公戦となるなど情勢も変わってきた昨年に再度話が持ち上がり、検討を再開。まず問題点として、都立大側だけで勝手に贈呈するのではなく阪公大側に話をしておくことになりましたが、府大 OB に連絡がなかなかつきませんでした。その後しばらくして、府大 OB 会も復活したようで。連絡が取れるようになりました。

復活した府大 OB 会の会長も世代交代していて、こちらより大分若い方が役員をされていました。共同でカップを作成し寄贈することにはすぐ賛成していただいたのですが、カップの名称、銘板の内容については決定までに時間がかかりました。しかし今は便利になり、都合が折り合えばリモート会議が簡単にできるので何度か協議しました。自校を先にしたいが、それを主張するのも

ちょっとという日本人のよさもあり決定的な案がありませんでした。

自動車部では道路地図は欠かせないので、地図の表記として東は右、西は左側だろうということで、阪公大を左側にすることで両校合意し、また裏面の銘板は、都立大を左にすることでうまく纏まりました。また両校とも名称が変わっていることもあるため、首都大学東京、大阪府立大学も併せて表記することができ、歴史的な背景も織り込めました。

大阪公立大学・東京都立大学総合競技大会
自 動 車 部 対 抗 戦
“勝 利 の 轍”

勝利の轍杯の表銘板

両校自動車部卒業生の交流再開を機に
車への熱き想いを若き後輩たちに
未来に向かって引き継いで欲しいとの願いを込めて
交流戦の勝者にタイヤ痕をイメージする
“勝利の轍（わだち）”杯を贈る
寄贈
東京都立大学・首都大学東京・大阪府立大学自動車部卒業生一同
令和 6 年　7 月

勝利の轍杯の裏銘板

出来上がったカップは、在京の府大 OB の方が、応援も兼ねて大阪に行かれる事になっていたので、遠路はるばる持って行っていただきました。

今回府大 OB 会と共同作業をしたことで交流の輪を築く第一歩となり、その後定期発行している「ているらんぷ」にも寄稿してもらい、今後の活動につなげていく予定です。

近年若い人達の自動車への興味や憧れが少なくなり、部員が集まらなくなってきて、活動を広げていくのも大変なようです。自動車部は競技だけではなく、車を改造、修理した後に動いた！走った！また山道でうまくコーナーを抜けて走りぬくという感動など楽しいことがいっぱいあることを共有できるように会としても活動していくつもりです。

岡崎　裕（都立大 72 年卒・工学部）

硬式庭球部 OBOG 会のご報告

コロナ禍につき 4 年ぶり 2023 年より再開した OBOG 会ですが、2024 年 11 月 23 日快晴の中無事開催することができました。OBOG43 名、現役 34 名参加いただき、南大沢キャンパス内テニスコートでのテニス、そして生協食堂での懇親会を盛況のうちに終えることができました。参加ご協力いただいた皆様には心より御礼申し上げます。

ご出席いただいたのは 15 期から 70 期までの OBOG の方々、そして現役（72-75 期）の皆様がテニス及び懇親会に参加いただきました。15 期の 4 名の皆様は傘寿になられる方々、さらに 16-20 期 7 名、22-30 期

晴天の中、南大沢テニスコートで
存分にテニスを楽しみました

懇親の宴の後、生協食堂で現役・OBOG の集合写真
酔っ払ってます

現役・OBOG 参加者のネットワーキング
生協食堂で楽しく会話させていただきました

13 名、31-39 期 15 名、それ以降が 4 名の参加と 20 代から 80 代までの OBOG そして現役の皆様を含めると 10 代と幅広い年齢層のネットワーキングがテニスを通して実現できていることは、大きな意義を感じるとともに深く感謝する次第です。

OBOG 会の目的

OBOG 会の目的としては、現役との絆を維持するとともに、その中で現役を支援するという大きな目的があり、OBOG の方々からの寄付が重要な位置付けとなっております。昨年は旧校名から都立大学名の部旗を進呈することができました。現役との絆を深め、OBOG からの支援を定着させることにより、関東学生テニスリーグにおいてもさらなる上のレベルで活躍できる様支援していければと強く思うところです。

また、2024 年度は現役も以下の通り輝かしい戦績を残されたこともあり、今後も OBOG そして現役との絆をさらに強固にしていくべくこの会を継続していく所存です。

ご参考）2024 年度現役戦績

〈男子〉

関東学生テニスリーグ	7 部決勝リーグ残留
関東理工科テニスリーグ	5 部昇格
国公立戦	第三位

〈女子〉

関東学生テニスリーグ	5 部決勝リーグ残留
関東理工科テニスリーグ	3 部昇格
国公立戦	優勝

川上　泉（都立大 84 年卒・機械）
硬式庭球部 OBOG 幹事

竹中工務店　東京都立大学･都立科学技術大学･首都大学東京　同窓会のご紹介

竹中工務店 東京都立大学・都立科学技術大学・首都大学東京同窓会（以下、竹中工務店東京都立大学同窓会）は、幅広い年代（20 代～ 90 代）で、文系・理系問わず多様な学部・学科の卒業生が集う同窓会です。引退された OB を含めると会員数は約 130 名、うち現在 70 名を超える都立大卒業生が、当社で活躍しています。ほぼ毎年都立大から当社へ入社されており、若手からベテランまで、さまざまな世代が集まり、同窓の絆を大切にしながら日々の業務に励んでいます。仕事面でも互いに助け合える良好な関係が築かれています。

当同窓会の特徴は、現役社員だけでなく、引退した OB の方々とも親睦を深めていることです。年に一度、現役社員と引退された OB が一堂に会し、定年を迎えられた方々のお祝いと懇親会を開催しています。この集まりは、世代を超えた交流の場となっており、先輩方の豊富な経験や知恵を若手社員に伝えるとともに、OB の先輩方にも現在の当社の状況をお伝えする貴重な機会となっています。

コロナ後ひさびさにご定年のお祝いと 5 年ぶりの同窓会を開催（2024 年 5 月）

最近の同窓会（2025 年 5 月）

私が入社してすぐに参加した懇親会（もう 15 年近く前ですが）では、東京ドームなど、当社の代表作品（※手掛けた施工物件のことを当社では「作品」と呼びます）の当時の苦労話などを引退された OB の方からお聞きして、大変興味深く伺ったことを覚えています。

また、私たち竹中工務店東京都立大学同窓会は、在学生の皆さんに向けて、竹中工務店の魅力を伝えたいと考えています。設計（意匠・構造・設備）・施工・営業･管理部門など、文系理系問わず、また国内外問わず、さまざまな分野で自身の能力を発揮できる環境が整っています。チャレンジ精神旺盛な方、新しいことにワクワクする方、ものづくりが好きな方など、意欲的な学生の皆さんを心からお待ちしております。

竹中工務店東京都立大学同窓会は、これからも世代を超えた交流を大切にしながら、竹中工務店の発展と、社会への貢献に尽力してまいります。皆さまのご支援とご協力をお願い申し上げます。

岡田 康隆（首都大 09 年卒・経営学系）

卒業から 60 年目の同期会

都立大学・電気工学科、昭和 40 年 /1965 年卒業の同期会を、2025 年 3 月に開催しました。卒業時は A 類と B 類合わせて 43 人でしたが、消息を確認できたのは 18 人、故人となった人は 16 人、連絡がつかない人が 9 人となっています。そして当日の参加者は 12 名でした。

交流のあった幹事が急死したため、私があとを継いて、フォローすることとしました。しかし、彼からの情報が入手できずにいたところ、2013 年時点の名簿が届いたため、それを手掛かりに、昨年 7 月からメールと電話をかけまくり、やっと名簿改定ができました。

続いて、メールアドレスを確認できた 18 名に、メールによる近況報告を持ち回りでお願いし、卒業以来の仕事の様子や近況を交換することができました。

皆さんの近況報告から勤務先を拾ってみると、フジクラ、富士電機、NTT、国際電気、関電工、NEC、東京都、オムロン、王子製紙、リコー、オリジン電気、日立、セイコー、ソニー、横河電機……、転職先を入れるともっと広がっており、日本の繁栄の一端を支えてきた感じがしました。そして、この持ち回り近況報告で、互いの時の流れを近づけることができたと思います。

さて、今回の同期会は、卒業から 60 年という節目の年、「60 年ぶりの再会」に心が躍りました。3 時間の会の細かい話は省略しますが、「どのような毎日を送っているか、楽しいことやどんな心配事があるか?」の話には、60 年の年輪が刻まれた顔と声に人生の重みを感じました。

その中から 83 歳を過ぎた仲間たちの関心事を「キーワード」で拾ってみると、

＜楽しみは＞　カラオケの会、麻雀の会、仲間との飲み会、オーケストラの会、コーラスの会
＜学習の会＞　歴史散策、街並みの観察研究、日本の海岸線を歩く旅
＜地域貢献の活動＞　老人会の仕事、NPO 法人の活動、おもちゃ病院
＜体調について＞　夜間頻尿、尿漏れ、大腸がんが気になる、ヘルニアで長く歩けない
＜健康維持のために＞　毎日近くを散歩、ゴルフ、テニス、100 坪の畑で農作業

一方、欠席者からは、歩くことがつらいのでとか、この歳でもう会うのは遠慮したいといった人もいました。それだけに、「参加できたとことは、幸せ」と一同感じたことでしょう。

森　正昭（都立大 65 年卒 13 期）

＜追伸＞

連絡がつかなかった人の中で、この報告をご覧になった方がおいででしたら、以下までご一報ください。

Tel.　044-951-1089
メール masa4925@jcom.home.ne.jp

懇談の様子

前列左から、武藤、樫木、森、浅見、畫馬、後列左から井部、野村、中庭、増田、村松、鈴木、馬場

水沢（みずさわ）　雪夫（ゆきお）　著　（文芸社）

ある一人の男の受験物語とその後

受験を主にした自伝的 二・八私小説（二は偽で八は真）
Yahoo! JAPAN 著者名で検索して下さい

清水　節夫
都立大 1966 年卒工化・同修士 1968 年卒

同窓会イベント

ホームカミングデーが 11 月 3 日（日・祝）に開催されました

当日は、①ホームカミングデーセレモニー、②本学卒業の落語家立川寸志さんによる記念講演会、③同窓会会員大会、④お楽しみ大抽選会、⑤同窓生交流会が開催されました。今回のホームカミングデーで多くの同窓生にご来場いただき、盛会のうちに終了することができました。これもひとえに皆様のご支援のあってのことと改めて感謝致します。

2025 年ホームカミングデーは 11 月 3 日（月・祝）に開催予定です。楽しい企画を考えて同窓生の皆様のお帰りを心よりお待ちしております。

立川寸志さん（都立大 90 年卒人文・史学）

お楽しみ抽選会の様子（南大沢キャンパス 6-110 室）

交流会の様子（Pizzeria 1830 多摩南大沢店にて）

「鎧兜」の展示公開をしました

昨年まで 3 月に「ひな祭りイベント」を開催していましたが、今年は大学施設の工事の関係で休止し、代わりに「鎧兜」を南大沢キャンパス 1 号館「光の塔」1 階の壁際に設置しました。期間は、3 月 21 日の卒業式や新入学、及び 5 月 5 日（祝日）の端午の節句を鑑みて、節句の直前の 3 月 14 日（金）～ 5 月 2 日（金）までの展示公開としました。

多くの新入生が鎧兜の前に集まり記念撮影し、同窓会の活動を知っていただけました。

展示された鎧兜（光の塔 1F）

2025 年 学生活動成果発表会（みやこの集い）が開催されました

6月14日（土）、南大沢キャンパス 8 号館 1 階イニシアティブ交流スペースにて、2024 年度プロジェクト奨励賞、スポーツ・文化活動賞同窓会長特別部門表彰他の学生団体・個人を招待し、同窓生との交流が行われました。

学生のプレゼンテーションに続き、ピザを食べながらのざっくばらんな雰囲気で同窓生が学生に質問したりコメントしたりすることで相互の理解を深めました。

発表の様子（上）と集合写真（下）

イベント委員会委員長
八木　隆（都立大 77 年卒 機械）

地域に根差す同窓会

支部だより

□　北海道支部

2024 年 11 月 16 日（土）17 時 30 分から札幌ガーデンパレス（札幌市中央区北 1 条西 6 丁目）において、北海道支部総会・懇親会が開催されました。同窓会本部の黒川信副会長、都立大プレミアムカレッジ長・学長特任補佐の可知直毅様、大学法人の近藤係長が来賓としてお見えになり、90 歳を超えてなおお元気な初代支部長の川島光行さん（S32 都立大経済卒）から 40 代会員まで都立大のほか首都大、科技大卒業生も一堂に会し、支部会員 30 名（うち女性 4 名）が出席されました。

総会では辻 泰弘支部長（S53 都立大経済卒）の開会挨拶の後、黒川副会長から御挨拶をいただき、その後、毎月開催している懇親会である二水会（昨年度は 9 回開催、毎回 10 名程度参加）や親睦ゴルフコンペの開催などの事業報告や会計報告、来年度事業計画、予算案などを審議したほか、任期を迎えた役員改選を行い、辻支部長を再任、若干名の追加を行いました。

総会終了後、懇親会に移り、再び辻支部長に乾杯の挨拶をいただいた後、可知学長補佐から都立大の最近の状況についてパワポでご説明いただきました。その後、各出席者から近況の報告をいただき、最後の挨拶を川島初代支部長からいただきました。

辻支部長の挨拶

懇親会終了後は同ホテル地下 1 階に席を移して 2 次会を行い、黒川副会長、可知学長補佐、近藤係長にも参加していただき、大いに盛り上がりました。

女性の参加者が少ないというご指摘もあり、20 代、30 代の参加者もいなかったので、より幅広い会員に参加していただけるよう取組を強化していきたいと考えています。

事務局長　鳴海 拓史（都立大 86 年卒・心理）

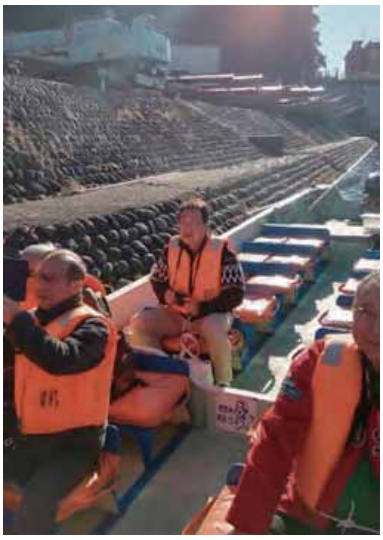
参加者の皆さん

□　中部支部

2024 年 11 月 24 日（日）に中部支部の行事として、秋のハイキングを犬山城を中心に実施しました。前日の強風とは打って変わって穏やかな晩秋の晴天となり、幸いでした。同窓生 8 名に大阪公立大学校友会中京支部からは岡野様を迎え、総勢 9 名となりました。犬山遊園駅に集合してから陽だまりの木曽川沿いを散策して犬山城を目指しました。周辺の土地は小高い山が多く、霧が出ると幻想的になります。特に犬山城は天守閣が白く浮き出て山水画のようになり、それが白帝城とも言われる所以だそうです。当日は晴天に恵まれましたが、昨今の温暖化の影響からか紅葉の色付きは遅く、一週間くらいは遅れていると故老は話されていました。終着点の犬山城天主の最上階にある回廊からは 360°の展望が楽しめ、遥か遠くの小牧城、名古屋駅前のツインタワー、はたまた岐阜城なども遠望できました。観光客で賑やかな門前町の一角にあるレストランで昼食をとってからは、午後の楽しみである木曽川遊覧へと赴きました。晴れているので晩秋の川風は肌に心地よく、ゆっくりと両岸の景色を楽しみながら舟遊びを楽しむことができました。心に残る、秋の穏やかな一日を満喫できました。東海地区の同窓生の皆様もぜひ、今後の催しにご参加ください。

岩間　淳三（都立大院 86 年修・独文）

犬山城と参加者の皆さん



木曽川遊覧

□　関西支部

第 30 回記念「関西支部の集い」は、2024 年 6 月 22 日（土）に大阪城を望むホテル「KKR ホテル大阪」において、本部から同窓会会長 吉田雅俊 様（都立大 23 期卒工・機械工）、大学から東京都立大学学長 大橋隆哉 様（東京大学院理学研究科理学博士）をお迎えし、16 名の参加により開催いたしました。「関西支部の集い」は、塩見育子さん（法・政治 47 期卒）の司会進行で関西支部 芦沢会長（工・建築 17 期卒）の挨拶に続き、ご来賓の吉田同窓会会長から同窓会本部の情報をご挨拶に合わせてお話しいただきました。その後、大橋学長から開催の祝辞を頂戴しました。

乾杯は関西支部 船川和夫副会長（理・化学 18 期卒）が行い、ひとときの宴と歓談の後、支部総会を行いました。総会議題は①収支決算報告②支部役員改選の件で、事務局長 根津嗣郎（工・建築 32 期卒）から報告し、全会一致で承認をいただきました。

会の中で、東京都立大学 大橋学長から「東京都立大学の今」と題し、ミニ講演をいただきました。東京都立大学における近況や施策方針と共に大学がどのような方向性をもって事業に取り組まれているか、また大学の様々な活動をお話しいただき、自らが在学していたころよりも随分と国際的で且つ多様性あふれる活動が行われており感心するものでした。

恒例のスピーチは参加者全員から、司会が初参加の方をはじめにスピーチを求め、参加者の趣味や仕事の話や日頃考えていることをお話しいただきました。参加者はそれぞれの人となりを知ることができ、会員間のつながりに通じるものになったことと思います。

心機一転、大阪城を望む会場での開催とし、多くの参加者となることを期待しておりましたが、コロナ禍の 3 年のブランクは大きく、今まで参加されていた先輩方も体力の衰えが理由で欠席となった方が多く見受けられました。昨年同様、参加者が少なくなってしまったことが残念でした。

参加者が少なく寂しい開催になるかと心配しておりましたが、少ない参加者であるためかお互いにゆっくり会話をする機会を持て、とても親睦の深まる機会となりました。このつながりを広げてゆくことが支部の務めであると感じております。

関西支部の会員は名簿記載人数約 900 名となり、規模の大きな同窓会支部になります。今後もこの支部活動を維持発展させていきたいと考えています。

是非一度ご参加いただき、世代を超えた「つながり」を深めたいと思っていますのでご気軽にお越しください。関西在住の皆様、来年も初夏には「関西支部の集い」を幹事一同、企画を凝らして、開催いたしますので、是非参加をお願いします。

関西支部事務局長・根津 嗣郎（都立大 84 年卒・建築）

□　九州支部

九州支部は特有の地理的障害のため、一地点での九州支部総会の開催が難しいことから、例年開催してきた福岡の他に宮崎、大分、長崎、佐賀の 4 地区それぞれが独自に懇親会を開いています。以下にその様子をご報告します。

2024 年度東京都立大学九州同窓会を終えて

標記の会を 10 月 13 日（日）11 時 30 分から福岡市 JR 博多駅近くの八仙閣本店にて開催いたしました。九州同窓会には同窓会本部から山川会長補佐、大学から伊藤副学長と古平課長をお迎えし、九州支部からは 19 名（宮崎 2 名、大分 1 名、長崎 1 名、熊本 2 名、佐賀 3 名、福岡 10 名）の方々にご参加いただきました。

伊藤副学長からは「都立大学の今」のご講演をいただきました。生涯教育・国際化の推進、研究センターの充実、校友会構想等、進化していく都立大学の姿を

九州同窓会参加者の皆さん

感じることが出来ました。

今年は熊本から91歳の方が昨年に引き続きご参加いただき、過去最高齢参加を更新されました。そして2021年卒の過去最年少参加もありました。さらに長崎の離島からは5時間かけてのご参加もありました。懇親会は約2時間半、ひとりひとりの近況報告もいただき、とても楽しいひと時を過ごすことが出来ました。

九州各地区で開催した地区懇親会のアンケートでは、47名の方から回答をいただきました。回答の7割が毎年開催を希望されています。開催曜日は土曜日開催が7割を占めました。時間帯はお昼開催と夕方開催に分かれています。少しお昼開催希望が多いです。ただ地区幹事の都合が最優先になりますので、地域の事情を踏まえて決めていこうと思っています。

来年からは地区懇親会の継続に加え、小さなイベントの開催を考えています。イベントはご家族も参加できるものにする予定です。今後もあらゆる世代の会員に気兼ねなく参加していただける会となることを目標に頑張っていく所存です。

2024年（令和6年）10月吉日
東京都立大学九州同窓会　会長　小川 省三
総括幹事　嘉村 知久

九州同窓会 佐世保地区懇親会を終えて

標記の会を11月30日（土）17時30分から佐世保市下京町4-4「庶民の料亭ささいずみ」にて開催いたしました。小川省三会長、嘉村知久総括幹事、太田信孝佐世保地区担当幹事の3名での開催になりました。

佐世保では初めての開催となります。今回の開催にあたっては、会場への日帰り参加が現実的な範囲に絞って88名の同窓生の方々にお声掛けをし、特に佐世保地区からは初めての地区懇親会へのご参加を期待しておりましたが、残念ながら、お一人も叶いませんでした。対象になる方の卒業生数が少ないのは承知しておりましたが、もっと魅力のある会にしないといけないと反省しております。

来年にはなりますが、「小値賀島の旅」を計画しています。とても魅力的な島です。卒業生が営む宿坊に泊まる1泊2日のガイド付きです。今後は懇親会だけでなく小さなイベントも企画していきたいと思っています。

カトリック三浦町教会

参加者の皆さん

東京都立大学九州同窓会
会長　小川省三、総括幹事　嘉村知久

九州同窓会 南九州地区（鹿児島）懇親会を終えて

標記の会を2024年9月7日(土)12時から「いちにぃさん天文館店」にて開催いたしました。鹿児島から8名、宮崎から4名、九州支部から2名、総勢14名の参加となりました。

鹿児島では初めての開催です。宮崎市から4名、奄美大島から1名、遠いところからのご参加有難うございました。懇親会の席中、九州同窓会の活動状況と九州の同窓生の状況を報告させていただきました。鹿児島の方はほとんど初対面にもかかわらず和気あいあいと楽しんでいただけていたので、とても安心しました。二次会にも12名の方にご参加頂けました。

来年からは鹿児島と宮崎は別々の開催になりますが、何年後かに都城で南九州合同の懇親会開催を計画しています。

東京都立大学九州同窓会
会長　小川 省三
総括幹事　嘉村 知久

参加者の皆さん

会場外での写真

訃報

24 年 4 月 1 日～ 25 年 3 月 31 日に事務局までご連絡のあった方々を謹んでご報告いたします。

※ 1　ご遺族から会報への掲載は望まないとのご意向があった方については掲載しておりません。
※ 2　お名前（敬称略）/ 大学名（都：旧都立大　科：科学技術大、首：首都大学東京）/
　　卒年（西暦下 2 桁）/ 学科・コース / 逝去年月日

中島　悠爾	都・人文学部名誉教授	24.05.15	桐生　與市	都	58	経済	24.07.18	中沢　紀久	都	66	経済	23.12.02
熊野　博之	首・機械工学科名誉教授	24.02. -	山内　哲也	都	58	化学	23.11.01	林 田　熙	都	66	数学	24.12.18
櫻木　玲治	都	53 経済	24.03.11	五十嵐弘毅	都	58	機械	23.09.13	富永　美忠	都	66	物理	23.09.17
加藤　龍夫	都	53 化学	23.12.04	遠藤　利雄	都	58	機械	24.10.25	大 浜　曠	都	66	機械	23.10.03
山 口　博	都	54 国文	24.08.08	保 立　徹	都	58	機械	23.10.29	土橋　勝則	都	66	土木	24.05.13
濱 田　清	都	55 経済	22.12.07	大島　利行	都	58	電気	24.02.02	射落　周幸	都	67	物理	24.01.31
渋谷　幸夫	都	55 法学	24.03.02	長 山　勲	都	59	機械	23.09.27	福田　立明	都	68	英文	24.09.01
安部美津子	都	55 化学	24.11. -	原口　一幸	都	61	法学	25.01.31	杉谷　初雄	都	70	化学	22.09.29
平 田　恭	都	56 物理	23.07.31	池田　雄二	都	61	化学	24.01.14	幸田　貫二	都	70	建築	23.11.22
瀬戸口一馬	都	56 化学	23.12.12	秀坂　直毅	都	62	法学	25.01.16	尾形　一彦	都	71	電気	23.10.22
野 原　剛	都	56 化学	24.08.18	板倉　倶宣	都	62	経済	23.09.20	渡辺　正夫	都	73	土木	23.02.16
小川　吉造	都	57 経済	24.12.11	鏡味　明克	都	62	国文	24.07.01	山梨　譲二	都	75	法律	23.08.19
村山　祥彦	都	57 経済	24.07.21	木村　清一	都	64	法学	24.06.05	橋本　孝仁	都	76	法律	24.02.23
杉沢　秀夫	都	57 法学	24.06.06	澤江　禎夫	都	64	法学	22.09. -	梅山　元彦	都	80	土木	22.09. -
野口のぶ子	都	57 法学		中山　正彦	都	64	物理	24.05.08	田中　禎一	都	85	工化	24.07.16
後 藤　暢	都	57 人文	23.05.04	落合　兼文	都	65	経済	24.07.04	大 塩　真	都	89	機械	23.10.26
山田　昭雄	都	57 電気	24.06.23	瀧本　武彦	都	66	社会	24.02.05	太田　浩子	都	91	政治	24.12.30
加 野　泰	都	57 物理	23.08.06	上原　信博	都	66	経済	21.12.14	渡辺　正樹	科	94	機械	25.03.17

追悼文

諏訪内 幹弘（都立大 65 年卒・機械）
（NPO 法人 MeC[注1]　前 理事長）

2024 年 7 月 21 日、同窓会元理事の村山祥彦さんがご逝去されました（享年 92 歳）。

村山さんは長らく同窓会の理事を務められ大変寄与されました。東急観光の常務取締役をご退任後は、NPO 法人 MeC の監事としても都立大学の支援（寄付講義、教育改革推進、ひな祭り等のイベント）に傾注され、その成果は大学当局からも高い評価を得ていました。

村山さんとは、NPO 法人 MeC での活動をご一緒して、統率力、実行力、気配りを知ることができましたし、信頼できる先輩として仕事の手際を多々教えていただきました。 又、NPO 法人 MeC の研修旅行では奥様をご同伴され偕老同穴を拝見させていただき深く感動いたしました。

最後に、謹んで哀悼の意を表しますとともに、ご冥福を心よりお祈り申し上げます。ありがとうございました。そしてさようなら。

注 1）　MeC: Metropolitan Careers

故 村山 祥彦さん

野原さんへのオマージュ

加藤 充子（都立大 61 年卒・経済）

東京都立大学同窓会会報第 1 号は昭和 36 年 3 月 20 日に発行された。まだ大学の所在地が目黒区衾町という住居表示であった時代である。時は移り、都立の 4 大学が合併して「首都大学東京」と名称を改め、歴史を重ねてきた同窓会会報も英語による大学の呼称の「Tokyo Metropolitan University」の頭文字をとって「TMU」と変身した。第 1 号は平成 17 年 10 月 1 日の発行。

裏表紙の編集委員 7 名の中央に「野原 剛」氏のお名前がある。氏は出版社「培風館」に勤務されたプロの編集者経験を持ってボランティアの素人達に指導と助言を惜しまず、毎年の TMU 作りに多大のエネルギーを注がれた。編集会議を聞き、掲載する記事を検討し、選び、執筆者に依頼する。全体のページ数を定め、割付けをして行く……。傍らで仕事をしながら私は「魔法みたいね」と感嘆したものだ。男ばかり 4 人兄弟の長男としてお生まれの故か、常に責任感に溢れ、リーダーシップを発揮される頼れる存在だった。一面、帽子を愛するダンディな紳士で、それを置き忘れる事も多いのか、「その時は注意してね」と頼まれたのは少し可笑しかった。遠からず再見！　ありがとうございました。

野原 剛様　第 4 期（1956 年）理学部化学科卒
2024 年 8 月 18 日死去　91 歳

故 野原　剛さん

学生支援活動①
プロジェクト奨励賞

各種活動を
応援しています!

本賞は現役学生の生き生きとしたプロジェクトに資金を提供するもので、受賞団体または個人に承認書と助成金（総額 100 万円）を授与してきました。24 年度（第 12 回）の応募は 13 件で、審査の結果 9 つの団体･サークル・個人に決定し、24 年 10 月 7 日に交付式を行いました。

1. 受賞団体　人力飛行機研究会 MaPPL

代表者：**岩田　一希**　機械システム工学科　助成金 10 万円

テーマ：人力飛行機（滑空機）の飛行距離記録の更新を目指して

理　由：鳥人間コンテストの常連としてエントリーしており実績も申し分ない。大学の名声を高め、大学に活気、学生に活力を与えている点も大きく評価できる。

MaPPL の活動の様子

2. 受賞団体　鳥人間部 T-MIT

代表者：**兼子　大輝**　航空宇宙システム工学科　助成金 20 万円

テーマ：鳥人間コンテスト 2025 に向けた機体の改良

理　由：鳥人間コンテストの常連としてエントリーしており実績も申し分ない。大学の名声を高め、大学に活気、学生に活力を与えている点も大きく評価できる。また申請書に詳細な計画が記載されていたため取り組み内容がわかりやすかった。

T-MIT の活動の様子

3. 受賞団体　東京都立大学学生フォーミュラプロジェクト Formula TMU

代表者：**金丸　巧**　数理科　助成金 10 万円

テーマ：第 22 回学生フォーミュラ日本大会に向けたマシン製作プロジェクト

理　由：着実な成果を挙げており、今年度もさらなる挑戦をして実績を上げることが期待される。また申請書の内容も詳細な計画の記載があり実現可能性が高い印象を受けた。

Formula　TMU

4. 受賞団体　いきもの!サークル東京

代表者：**濱口　直翔**　生命科学科　助成金 5 万円

テーマ：東京都立大学内の水環境の保全

理　由：貴重な松木緑地の価値を高める活動が評価された。今後は学内外の仲間を募って継続的な活動になるような取り組みを期待する。

「いきもの！サークル東京」の活動の様子

5. 受賞団体　CORE

代表者：**藤澤　海大**　航空宇宙システム工学科　助成金 15 万円

テーマ：ABS 樹脂燃料、酸化剤旋回型を用いた高推力ハイブリッドロケットエンジンの独自開発

理　由：ロケットエンジンの作成という高難易度な取り組みに向かって挑戦し、一定の成果を残している。今後の発展を期待している。

CORE の活動の様子

6．受賞団体　都立大子どもまつり実行委員会

代表者：**井上　雄哉**　人間社会学科　助成金 10 万円

テーマ：「第 2 回都立大子どもまつり 2024」の実施

理　由：多くの団体を巻き込んで組織化された活動であり、地域における大学の存在意義を高める活動である。取り組み内容も申請書からよくわかり、プロジェクト奨励賞としてふさわしいと評価された。

「子どもまつり」の活動の様子

7．受賞団体　東京都立大学管弦楽団

代表者：**柴田　紗彩**　法学科　助成金 5 万円

テーマ：都立大の「音楽の顔」として～演奏を通じての都立大の宣伝と、学内外の振興～

理　由：地域住民との交流など学内外の様々なイベントにも積極的に参加することで都立大の顔として役割を果たすことが期待される。

管弦楽団の活動の様子

8．受賞団体　さはらかん

代表者：**古内　幹人**　航空宇宙システム工学科　助成金 5 万円

テーマ：基礎技術を研鑽した機体で第 20 回能代宇宙イベントでのメインサクセスの達成を目指す

理　由：取り組みの独自性が感じられる。今年こそ大学の名声を高める成果をおさめることを期待している。

「さはらかん」の活動の様子

9．受賞団体　いきもの！サークル東京

代表者：**山口　真毅**　生命科学科　助成金 5 万円

テーマ：都立大いきもの園

理　由：いきものの魅力を伝える取り組みに継続的に取り組んでいることが評価できる。

「いきもの園」活動の様子

表彰式

2024 年 10 月 7 日（月）13 時から南大沢キャンパスで表彰式が行われました。

表彰式出席者

学生支援活動②

2025年度寄付講義「日本の産業と企業」

キャリア設計を応援しています！

講義後の熱心な質問風景

同窓会は 07 年度より毎年、大学に講師の選定と講師に関わる費用を負担して、教養科目群の一科目として講義を提供しています。後期だけの講義ですが、修了すれば 2 単位が与えられます（毎週レポート提出が課せられ、期末試験もあります）。

2025 年度も「産業別講義」と「プロジェクトに関する講義」の 2 部構成で 13 講義が提供され、講師、日程等は以下のとおりです。

昨年度（2024 年度）も、約 400 名の受講者があり、本学の数ある授業科目の中でも受講者が多い科目の一つとのことです。

この講義は、講師の方々及び担当教官のご尽力により、学生から高い評価が寄せられています。授業中だけでなく、授業後も質問する学生が列を作るという光景が見られ、講師からも、鋭い的確な質問が多く刺激的であったとの感想が寄せられていました。

なお、実施に当たっては、同窓会全体として積極的に関わることとしており、理事会に「講師選定委員会」を設け、八雲同友会と NPO 法人 MeC のご協力をいただきながら、OB・OG の中から会社経営に豊富な経験を持ち産業の発展に貢献した方あるいはご自分が事業にかかわってこられた方などできるだけ幅広い分野の講師を依頼しています。

これからもさらに充実した内容にしたいと考えますので同窓生の皆さまからも講師候補者のお心当たりがありましたら是非ご協力ください。

第 1 部 産業別講義

1. **窓を考える会社～サッシから窓へのビジネスモデルの変革～**（25 年 10 月 9 日）
松谷　和男　都立大 81 年卒・機械
YKK AP（株）取締役 CHRO（最高人事責任者）

2. **日本の M&A 市場（事業承継ニーズ）について**（25 年 10 月 16 日）
倉澤　瑞樹　都立大 02 年卒・経済
M & A ロイヤルアドバイザリー（株）取締役 社長室長

3. **証券会社の役割と「貯蓄から資産形成」について**（25 年 10 月 23 日）
今井　崇人　都立大 97 卒・経済
松井証券（株）取締役

4. **テレビ局は何処へ　映像ビジネスの楽しみ方**（25 年 10 月 30 日）
岡部　紳二　都立大 88 年卒・経済
テレビ東京 HD（株）、（株）テレビ東京制作　常務取締役

5. **ロケット開発の最前線**（25 年 11 月 6 日）
山本　研吾　科技大 99 年卒・航空
新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）
航空・宇宙部 機体・装備品ユニット 主査

6. **超高齢社会における地方の介護事業実践～事業を通して社会課題へ向き合う～**（25 年 11 月 13 日）
大田黒 靖之　保科大 07 年卒・作業
（有）ミモレ・ダイコク代表取締役社長

第 2 部　プロジェクトに関する講義

7. **アートプロジェクトが人類を救う～資本主義の終末期の今、アートでコミュニティを再生する～**（25 年 11 月 20 日）
清水　敏男　都立大 77 年卒・仏文
美術評論家、TOSHIO SHIMIZU ART OFFICE　代表取締役

8. **足元から世界を変える～スマートフットウェアの開発とハードウェアスタートアップについて～**（25 年 11 月 27 日）
菊川　裕也　首都大院博士前期 12 年修・アート
（株）ORPHE　代表取締役

9. **企業に求められる気候変動・気象防災への取り組み～気象報道や NPO 法人運営を経験して～**（25 年 12 月 4 日）
岩谷　忠幸　都立大 92 年卒・地理
オフィス気象キャスター（株）代表取締役

10. **こころが変われば、人生が変わる～創造的な生き方を応援する「カウンセリング」を通した社会貢献事業～**（25 年 12 月 11 日）
篠原　恵美　首都大院博士後期 15 年修・人間科学心理
（一社）甲府心理臨床研究所　所長

11. **電気通信業界におけるビジネスと国際標準と知財～私の業界経験をとおして～**（25 年 12 月 18 日）
植木　泰弘　都立大 78 年卒・電気
植木知的財産事務所　所長　弁理士

12. **私が経験した日本のグローバリゼーションの変遷～ P&G プロジェクトを経て、PBO 及びインバウンド事業へ～**（26 年 1 月 8 日）
高部　明敏　都立大 93 年卒・英文
コーアド（株）代表取締役社長

13. **「地球の歩き方」コロナ禍中でのV字回復、そして、海外体験の過去・現在・未来**（26 年 1 月 15 日）
新井　邦弘　都立大 90 年卒・史学
（株）地球の歩き方　代表取締役社長

学生支援活動③
スポーツ・文化活動賞
同窓会長特別表彰

各種活動を
応援しています！

1．受賞者　板倉　広昂

都市環境科学研究科環境応用化学域博士後期課程１年　賞金３万円

テーマ：都立大テコンドー部コーチおよびテコンドー日本代表としての活動と成果

理　由：第 10 回アジアテコンドー選手権大会の選手団の一員として活躍し、大会での成果を残すことにも貢献した。また、部員のモチベーション向上にも取り組み全体のレベルアップを図った。

2．受賞団体　体育会合氣道部

代表者：**星野　佑斗**　法学部法学科法律学コース3年　賞金１万円

テーマ：心身統一合氣道競技大会団体の部での優勝

理　由：第 43 回全日本心身統一合氣道競技大会で団体優勝という素晴らしい結果を残した。今後も創意工夫に取り組んで、より高いレベルへ向けて努力を続けてほしい。

3．受賞団体　人力飛行機研究会 MaPPL

代表者：**岩田 一希**　システムデザイン学部機械システム工学科2年　賞金 10 万円

テーマ：鳥人間コンテスト滑空機部門 2024 における準優勝、学生優勝

理　由：鳥人間コンテスト 2024 滑空機部門で準優勝の結果を残した。継続して活動に取り組み、一定の成果を残している点は素晴らしい。また大学の名前を全国に知らしめる役割も大きい。

4．受賞団体　フライングディスク部 butterfly

代表者：**立花　要**　経済経営学部経済経営学科2年　賞金３万円

テーマ：2024 年度、本部活動における歴代最高の実績

理　由：第 35 回全日本大学アルティメット選手権大会において３位などの結果を残した。徐々にレベルアップが図られているように感じます。今後はより高いレベルでの活躍を期待します。

5．受賞団体　体育会硬式庭球部

代表者：**飯嶋 小夏**　都市環境学部都市基盤環境学科2年　賞金１万円

テーマ：スポーツ・文化活動：国公立戦（男子部）３位、（女子部）優勝、関東理工科大学テニスリーグ（男子部）６部昇格、（女子部）３部昇格

理　由：2024 年度第 72 回東京地区国公立大学体育大会で女子部優勝を筆頭に男子部３位、関東理工科大学硬式庭球連盟団体リーグ戦で昇格を果たすなどの結果を残している点を評価しました。今後はより広域での大会で結果を出すよう頑張ってほしい。

6．受賞者　木須　雄士郎

理学部生命科学科４年　賞金３万円

テーマ：分野を問わずに大学生が IT 技術を通してそれぞれのアイディアを表現できる場を構築する活動

理　由：他の大学の学生らとも協力して、数多くの活動に主体的にかかわっている点が高く評価されました。これらの活動が地域貢献に結びつき、大学の名声を高めることを期待します。

7．受賞者　伊賀　悠洋

システムデザイン研究科電子情報システム工学域修士２年　賞金７万円

テーマ：学生生活の集大成にふさわしい三刀流の文武両道と知見を活かした後輩学生の支援活動

理　由：「今しかできないことに全力で取り組む」という目標に向けて努力し、第 33 回オリンピック競技大会代表選手選考へ出場、2024 年マッスルゲート関東大会で２位、そして難関試験である情報処理安全確保支援士試験に合格したという結果は大変すばらしいと思います。

8．受賞者　海老澤　元

システムデザイン学部インダストリアルアート学科４年　賞金７万円

テーマ：CG 技術の多分野応用と社会発信

理　由：映像技術の向上に努め、国際大会など数多くのコンテストに参加して受賞する結果を残している。発展著しい分野と思うので、都立大学がこの分野をリードしていくような環境作りに貢献することを期待します。

9．受賞団体　東京都立大学テコンドー部

代表者：**柴谷　雄介**　都市環境学部観光学科２年　賞金３万円

テーマ：テコンドー部の部活動改革

理　由：第 36 回全日本学生テコンドー選手権大会で総合優勝の結果を残した。大会結果を見ると、部門別で優勝、準優勝しており結果が素晴らしい。今後はより大きな大会での活躍を期待します。

10．受賞団体　いきもの！サークル東京

代表者：**濱口　直翔**　理学部生命科学科2年　賞金１万円

テーマ：東京都立大学内の水環境の保全とその継続的な生物相調査

理　由：希少生物の調査、保全に頑張っているところが評価されました。外部の方とも連携をとっている点はポイントが高いです。環境省が認定する自然共生サイトへの登録を実現するまで頑張ってください。

表彰式

2025 年 4 月 23 日（水）１５時から南大沢キャンパスで表彰式が行われました。

学生支援活動④
同窓会奨学金制度

同窓会奨学金制度は 19 年 4 月から 21 年 3 月までの期限付きで実施された『大学名称変更記念募金』の応募金 1568 万円を原資に 20 年 4 月から支給を始めました。在校生で経済的支援を必要とし、かつ成績優秀者を対象に、各学部 1 名、計 7 学部 7 名に対して給付型で月額 3 万円を 1 年間支給するもので、年間支給総額は 252 万円になります。以下に 4 年目の 24 年度に受給した学生からのお礼の言葉を掲載します。

受給した学生からのお礼の言葉　※学年は 2024 年 4 月 1 日現在

両角　美咲　法学部法学科 2 年

1 年間にわたる同窓会奨学金のご支援をいただき、本当にありがとうございました。

私は一人暮らしをしておりアルバイトをして生活費を工面していますが、この度のご支援により、経済的な不安を抱えることなく学業に専念することができました。

将来は法学部で培った専門知識を生かし、社会貢献できるよう努めていきたいと考えております。同窓会への感謝の気持ちを胸に、今後も精一杯努力してまいります。

庄司　圭佑　理学部化学科 3 年

この度は、同窓会奨学金のご支援誠にありがとうございます。

ご支援のおかげで勉学に専念でき、TOEIC 受験や部活動にも参加ができました。

多くの学びを習得し、自身の視野も広がり大変充実した 1 年を過ごせました。

同窓会の皆様への感謝を忘れずに、社会に貢献できる研究者の一員となって恩返しできる様に、今後も引き続き一層の努力と挑戦を惜しまず頑張って参ります。

田中　菜穂　都市環境学部地理環境学科 2 年

この度は同窓会奨学金によるご支援、誠にありがとうございました。私だけではなく兄妹の多額の学費や生活費が重なり、それに加えて母の闘病と、両親には心身ともに負担をかけてしまっていましたが、同窓会からのご支援に大いに救われました。母の闘病はこれからも続きますが次は私が母を支えることができるように精進してまいります。同窓会の皆様へ感謝を忘れず、より一層奨学生としての自覚を持ち勉学に励んでいきます。

高　ウィリアム　システムデザイン学部機械システム工学科 2 年

お世話になっております。2024 年度一年間にわたり、奨学金の支援していただきありがとうございます。児童養護施設育ちであり、親からの経済援助が受けられない僕にとってとてもありがたい支援となっております。

具体的な使い道は、毎月の家賃などに当てさせていただいております。アルバイトで生計立てている僕にとって毎月一定額の支援を受けられることは大変ありがたいことです。

一年間ありがとうございます。

今後ともよろしくお願いいたします。

佐々木　玲緒　健康福祉学部看護学科 4 年

在学期間のうち、3 年にわたってのご支援、誠にありがとうございました。みなさまのご支援のおかげで、病院実習中やテスト期間含め経済の心配なく学業に全うし、多くの学びを得ることができた学生生活でした。来年度からは看護師として勤務する予定ですが、この 3 年間で受けたご恩を、別の形で多くの人に返していけるよう精進して参ります。改めて、3 年間ご支援いただいた同窓会の皆様には、深く感謝申し上げます。

国際空手道連盟極真会館　山梨支部

支部長　小坂 武史（伍段）

甲府南西・甲斐竜王・一宮石和・中央市リバーシティカルチャー空手教室・
富士吉田・都留・上野原コモアしおつ空手教室・南アルプス　各道場生徒募集！

お問い合わせ：055-227-2282（事務局），WEB サイト：http://www.kcnet.ne.jp/~kyk/

道場生　上嶋聖人 システムデザイン研究科 博士前期課程 2009 年修了 Email：m.uwajima0608@gmail.com

つなぐ 研究室紹介 シリーズ

筋骨格系理学療法研究室および徒手理学療法コース紹介

来間 弘展
（くるま ひろのぶ）
人間健康科学研究科
理学療法科学域・教授

私の研究室は、筋や関節など運動器に関する障害メカニズムおよび治療に関する研究を行っています。特に理学療法治療法の一つに徒手理学療法と分類されるものがあります。徒手理学療法は、理学療法士の手の操作で関節や筋組織、神経組織を動かし、運動と組み合わせて治療していくものです。このような治療効果を明らかにするため、まず障害をデータにて明らかにし、その後に理学療法介入によりどのように変化したのかを科学的に明らかにすることを目標としております。身体部位としては、頚部や腰部と足部を主に行っています。

頚部における研究の一部を紹介いたします。頚部痛者と健常者で、顔を横に向けた時の脊柱を MRI で撮像して、脊柱がそれぞれどの程度回っているか、分節的に計測・比較しました。頚部痛者では、健常者に比べ、大きく動いてしまっている部位と動きが少ない部位があり、特に胸の部分（胸椎）の関節の動きが有意に減少していました。そこで、胸椎を理学療法士が動かす徒手理学療法を実施し、その後の効果検証を行いました。MRI にて胸椎の分節の動きが改善し、また 1 週間、4 週間後において頚部痛の症状軽減を認めました。このように運動器の問題および理学療法介入の効果検証を行っております。

もう一つ、私が主宰している徒手理学療法コースについて紹介いたします。こちらは研究に加え、治療技術の習得も併せて実施するコースワークの大学院授業です。世界理学療法連盟という理学療法士の世界的集まりの団体があり、その下に徒手理学療法を専門にしている人達が集まる、国際筋骨格系徒手理学療法連盟（International Federation of Manual and Muaculoskeletal Physical Incorporated: IFOMPT）という団体があります。この IFOMPT が示す基準を満たし、認定を受けた教育機関を修了すると整形徒手理学療法士（Orthopedic Manual Physical Therapist: OMPT）という国際的資格を名乗ることができます。日本において、この認定を受けた教育機関は 2 つしかなく、都立大学が唯一大学院教育として認定されています。教育基準はかなり厳しく、教育時間は理論 200 時間、実技実習 150 時間、臨床実習 150 時間の合計 500 時間以上が求められ、求められる内容も単に治療技術のみではなく、疼痛の理解、レントゲン画像の理解、職場管理学など多岐にわたります。臨床実習では、2 名の学生がペアとなり、学内および整形外科クリニックで、1 人の患者を 1 時間で評価・治療します。学内では腰が痛いとか膝が痛いなど不調がある人に協力をお願いしています。

またこのコースは、IFOMPT が教育質の担保をするために、3–4 年に一度、外部審査員による授業視察および授業内容の審査が行われ、外部審査員からの報告書とコース責任者が記載する報告書を IFOMPT に提出し、IFOMPT の教育基準委員会による審査が行われています。外部審査員は海外から招聘し、提出書類も膨大なため、財政・人員両面を要するコースとなっております。しかし、世界基準の認定資格が取得できるため、毎年希望者は一定数おり、大学の理解協力を得ながら、世界レベルの理学療法士養成に奮闘しております。

徒手理学療法コース外部審査員の助言に耳を傾ける院生達

余談ですが、理学療法科学域では 4 年間、大学からの大学院授業英語化推進事業の支援を受け、世界各国の著名な先生を招聘し、学生達へ講義をしていただきました。学生達は世界トップレベルの理学療法士から、とても良い刺激を受けておりました。本学域での当該事業は修了してしまいましたが、このような機会を継続して学生達に提供出来ればと考えております。

同窓会の皆様におかれましては、引き続きご支援・ご理解を頂けましたら幸いです。

英語化推進授業で南アフリカから招聘した先生の授業風景

24年度秋季卒業式・修了式が挙行されました

2024年9月25日（水）に南大沢キャンパス国際交流会館大会議室にて秋季卒業式・修了式が挙行されました。今季は、86名（うち留学生52名）が卒業・修了しました。秋季は留学生の卒業生・修了生が多いことから、式典は英語で行われました。式辞では大橋学長から「The world is waiting for you. Congratulations!（世界はあなた方を待っています。おめでとうございます!）」と卒業生・修了生にエールが送られました。

大橋学長の挨拶

24年度秋季入学式が挙行されました

2024年10月1日（火）に、南大沢キャンパス国際交流会館大会議室にて秋季入学式が挙行されました。新たに63名の新入生（うち留学生58名）が本学に入学しました。秋季は留学生の新入生が多いことから、式典は英語で行われました。

式辞では大橋学長から「You have the whole world ahead of you. Pursue your dreams, believe in the power of learning, and start a new page of your life at TMU. Congratulations on your enrollment!（あなたの前には世界が広がっています。夢を追い求め、学ぶ力を信じ、東京都立大学で人生の新たなページを始めましょう。ご入学おめでとうございます!）」と新入生にメッセージが送られました。

次期学長候補者の決定

東京都立大学学長選考会議は、学部長等の意見も聴取の上、「望ましい学長像」を策定し、それを踏まえて書類の審査及び候補者への面接を行った結果、次期学長候補者として、現学長の大橋 隆哉氏を選考しました。

東京都立大学「グローバル教養講座」の一般公開

豊かな国際感覚やグローバルな視点を育み、国際社会で活躍できる人材を育成するため、文理を問わず国際的に第一線で活躍する講師による「グローバル教養講座」を実施しています。マイケル・サンデル教授ら豪華講師による都立大での講演の様子や高校生向け講義等について、広く一般公開しています。

公開中の講座は、パラグ・カンナ氏（Climate Alpha創設者兼CEO）、マイケル・サンデル氏（ハーバード大学教授）、アレックス・バナヤン氏（ベストセラー作家）＜高校生向け＞、シーナ・アイエンガー氏（コロンビア大学教授）、細野秀雄氏（東京工業大学名誉教授）、ギャビン・シュミット氏（ゴダード宇宙研究所所長）。

また、11月には特別編として台湾の元デジタル発展相であるオードリー・タン氏を招き、都立大で「デジタル・イノベーションの未来予想図」と題した講演会が行われました。

グローバル教養講座ホームページから抜粋

「光の塔の日」キャンペーン

「光の塔の日」キャンペーン・サイトの一部を引用

学舎に佇む荘厳な建築「光の塔」を紹介するページが開設され、2024 年 2 月 10 日から 2025 年 3 月 10 日の期間中、毎月 10 日ライトアップなどが企画されるとともに一般の方の見学機会も設定されました。

「英語学位プログラム」・「国際系新学部」について

東京都立大学では、社会のグローバル化、大学教育の国際化、学生の英語力向上に対応することなどを理念とし、卒業に必要な全ての単位を英語で履修できる「英語課程」を、2015 年度（平成 27 年度）に理学部生命科学科（当時は都市教養学部理工学系生命科学コース）において開始しました。また、2024 年度（令和 6 年度）からは、留学生や帰国子女等を対象に、「英語課程」に秋に入学できる仕組みを導入しています。このたび、さらなる国際化の取組の一環として、既存の各学科への「英語学位プログラム」の導入と、「国際系新学部」の設置に向けた準備を進めていくこととしました。これにより、広く国内外の学生が互いに切磋琢磨し、理解し合う、さらに多様性の進んだキャンパスの実現や、教育・研究の進化へとつなげていきます。

意欲ある多くの学生に、「英語学位プログラム」及び「国際系新学部」の門を叩いていただきたいと考えています。詳細は、順次公表します。

1 概要

(1) 英語学位プログラム

幅広い専門分野において、高度な語学力と深い専門知識を有する人材を育成すべく、英語のみで履修し学位を取得するプログラムを既存の各学科に導入

(2) 国際系新学部

国際社会で活躍する基盤となる幅広い教養、豊かな発想力、高度な語学力を身に付けたグローバル人材を育成する、新たな学部を設置

2 開設時期（※）

(1) 英語学位プログラム

2027 年度（令和 9 年度）に複数学科で導入し、順次拡大予定（最終的に 15 学科程度を想定）

(2) 国際系新学部

2028 年度（令和 10 年度）の開設を目指す

(※) 上記内容は大学ホームページから引用したもので、「内容は計画中の段階であり、変更となる場合があります。」との但し書きが示されていることをお断りいたします。

24 年度卒業式・修了式が挙行されました

2025 年 3 月 21 日（金）、東京たま未来メッセ（東京都八王子市明神町）にて学部生、大学院生、プレミアム・カレッジ生を対象とした式が挙行されました。

式辞で学長は、1）大学時代の友人を大切に、2）知性という力を信じ活かす、3）おそれずに挑戦を、とエールを送りました。

大橋学長の挨拶

25 年度入学式が挙行されました

2025 年 4 月 6 日（日）14 時 30 分より、東京国際フォーラム ホール A において挙行されました。

大橋学長から大学での学びの「自由」について説明があり、十分な力を蓄えてから大海原に旅立ってほしいとのエールが送られました。

小池百合子都知事の祝辞では「夢を持つ」「チャレンジを続ける」「世界を見て俯瞰する」ことの重要性についてお話がありました。

4 月に着任された中山泰男理事長からは、大学の国際系新学部設置準備等の近況説明から始まり、「主体的行動力」「コミュニケーション力」を養ってほしい旨のメッセージがありました。

大橋学長の挨拶

中山泰男 理事長の挨拶

2025 年度一般選抜試験出願状況及び合格者状況（前期・後期合計）

学部	人文社会学部		法学部	経済経営学部	理学部				都市環境学部						システムデザイン学部					健康福祉学部				全学部合計
学科	人間社会学科	人文学科	法学科	経済経営学科	数理科学科	物理学科	化学科	生命科学科	地理環境学科	都市基盤環境学科	建築学科	環境応用化学科	観光科学科	都市政策学科	情報科学科	電気電子工学科	機械システム工学科	航空宇宙システム工学科	インダストリアルアート学科	看護学科	理学療法学科	作業療法学科	放射線学科	
募集人員	75	53	165	140	35	36	38	30	22	34	35	34	25	35	32	66	59	34	38	39	24	18	27	1085
出願者	447	351	1601	823	254	265	319	202	116	170	496	270	122	183	468	177	451	306	289	204	114	54	184	7866
合格者数	90	67	340	171	42	42	45	38	23	49	40	43	29	41	63	45	85	49	40	49	25	18	31	1465
合格倍率	5.0	5.2	4.7	4.8	6.0	6.3	7.1	5.3	5.0	3.5	12.4	6.3	4.2	4.5	7.4	3.9	5.3	6.2	7.2	4.2	4.6	3.0	5.9	5.4

2025 年 3 月 31 日付で退職された教授・准教授

氏名	職位	学部	学科等　コース等
荒井　文昭	教授	人文社会学部	人間社会学科　教育学教室
神田　明延	教授	人文社会学部	人間社会学科 日本語教育学教室
猪股　ときわ	教授	人文社会学部	人文学科 日本文化論教室
園田　みどり	教授	人文社会学部	人文学科 ドイツ語圏文化論教室
藤原　真実	教授	人文社会学部	人文学科 フランス語圏文化論教室
篠田　昌志	教授	法学部	法学科　法律学コース
富井　幸雄	教授	法学部	法学科　法律学コース
芝田　隆志	教授	経済経営学部	経済経営学科
高尾　義明	教授	経済経営学部	経済経営学科
西村　孝史	准教授	経済経営学部	経済経営学科
津村　博文	教授	理学部	数理科学科
高津　飛鳥	准教授	理学部	数理科学科
村上　弘	准教授	理学部	数理科学科
セルゲイ ケトフ	准教授	理学部	物理学科
宮田　耕充	准教授	理学部	物理学科
村上　哲明	教授	理学部	生命科学科

氏名	職位	学部	学科等　コース等
高橋　日出男	教授	都市環境学部	地理環境学科
角田　誠	教授	都市環境学部	建築学科
首藤　登志夫	教授	都市環境学部	環境応用化学科
石田　玉青	准教授	都市環境学部	環境応用化学科
金子　憲	准教授	都市環境学部	都市政策科学科
阿保　真	教授	システムデザイン学部	電子情報システム工学科
若山　修一	教授	システムデザイン学部	機械システム工学科
串山　久美子	教授	システムデザイン学部	インダストリアルアート学科
飯塚　哲子	准教授	健康福祉学部	看護学科
種吉　啓子	准教授	健康福祉学部	看護学科
増谷　順子	准教授	健康福祉学部	看護学科
ボンジェ ペイター	教授	健康福祉学部	作業療法学科
立花　宏	教授	大学教育センター	
田中　里実	准教授	大学教育センター	
黒田　史彦	教授	国際センター	

2024 年 4 月 1 日付

東京都立大学名誉教授称号授与者

氏名	所属
安田　修	理学部物理学科
清水　敏夫	理学部化学科
加藤　潤一	理学部生命科学科
若林　芳樹	都市環境学部地理環境学科
梶原　康博	システムデザイン学部電子情報システム工学科
菊竹　雪	システムデザイン学部インダストリアルアート学科
河原　加代子	健康福祉学部看護学科
猫田　泰敏	健康福祉学部看護学科
織井　優貴子	健康福祉学部看護学科

叙勲おめでとうございます

前学長の上野先生が瑞宝中綬章[注1)]を受賞されました。

瑞宝中綬章　**上野　淳**さん
（都立大 71 卒・建築、院 77 修了）
東京都立大学 前学長・名誉教授

写真は大学 HP より引用

注 1）公務等に長年にわたり従事し、成績を挙げた方に授与（総務省 HP）

2024 年度司法試験の合格者数 / 合格率

法科大学院（大学院別 30 位まで）

順位	大学	合格者数	合格者のうち 修了者	合格者のうち 在学中	合格率
1	慶應義塾	146 人	43	103	59%
2	早稲田	139 人	56	83	42%
3	東京	121 人	33	88	47%
4	京都	107 人	25	82	49%
5	中央	83 人	31	52	46%
6	大阪	72 人	35	37	41%
7	一橋	60 人	13	47	49%
8	神戸	51 人	20	31	38%
9	同志社	41 人	23	18	37%
10	九州	37 人	23	14	35%
11	名古屋	32 人	11	21	31%
12	立命館	29 人	14	15	22%
13	明治	25 人	18	7	22%
14	東北	21 人	7	14	22%
15	日本	19 人	8	11	19%
16	北海道	17 人	6	11	26%
17	関西	15 人	13	2	21%
18	筑波	14 人	9	5	23%
19	上智	12 人	5	7	27%
20	千葉	11 人	11	0	21%
21	東京都立	10 人	4	6	11%
21	関西学院	10 人	9	1	24%
23	専修	9 人	6	3	27%
23	大阪公立	9 人	7	2	25%
23	広島	9 人	6	3	26%
26	法政	7 人	7	0	12%
27	創価	6 人	2	4	18%
28	岡山	5 人	2	3	20%
28	南山	5 人	3	2	28%
28	琉球	5 人	4	1	17%
28	愛知	5 人	3	2	56%
32	学習院	4 人	3	1	11%
32	金沢	4 人	3	1	25%
32	福岡	4 人	2	2	17%

予備試験*合格者　441 人 92.8%

*法科大学院未修了でも司法試験の受験資格があることを認定する試験

2023年度　卒業･修了後主な就職先について（複数名以上の就職先）

（１）一般企業等　※法人格省略

建設業		大林組／鹿島建設／清水建設／JFEエンジニアリング／大成建設／LIXIL
製造業	**印刷･同関連業**	大日本印刷／凸版印刷
	化学工業 石油･石炭製品製造業	積水化学工業／太陽ホールディングス／デンカ／東ソー
	鉄鋼業、非鉄金属･金属製品製造業	住友電気工業／トーカロ／三菱マテリアル
	はん用･生産用･業務用機械器具製造業	荏原製作所／住友重機械工業／東京エレクトロン／日立建機／三菱重工業
	電子部品･デバイス･電子回路製造業	アズビル／ウエスタンデジタルテクノロジーズ／キオクシアソニーセミコンダクタソリューションズ
	電気･情報通信機械器具製造業	キヤノン／キーエンス／コニカミノルタ／JVCケンウッド／ソニーグループ／ニコン／日本電気／日立製作所／富士通／富士電機／三菱プレシジョン／リコー
	輸送用機械器具製造業	川崎重工業／トヨタ自動車／日産自動車／本田技研工業／ボッシュ
	その他製造業	AGC／オカムラ／住友大阪セメント／三菱鉛筆／リンテック
電気･ガス･熱供給･水道業		電源開発／東京電力ホールディングス
情報通信業		アクセンチュア／アビームコンサルティング／SCSK／NECソリューションイノベータ／NTTデータ／NTTデータNJK／NTTデータビジネスシステムズ／NTTドコモ／NTTフィナンシャルテクノロジー／キヤノンITソリューションズ／KDDI／コムチュア／サイバーエージェント／シティ･コム／ジャステック／情報戦略テクノロジー／ソウルドアウト／ソフトバンク／大和総研／電通国際情報サービス／DNP情報システム／東芝デジタルソリューション／トランスコスモス／ニッセイ情報テクノロジー／日鉄ソリューションズ／日本経済広告社／日本タタ･コンサルタンシー･サービシズ／日本プロセス／日本放送協会／野村総合研究所／パナソニック コネクト／パーソルクロステクノロジー／東日本電信電話／日立システムズ／日立システムエンジニアリングサービス／日立ソリューションズ／日立ソリューションズ･クリエイト／BIPROGY／富士通Japan／フラー／ボールド／みずほリサーチ&テクノロジーズ／ヤフー／楽天グループ／レバレジーズ
運輸業･郵便業		全日本空輸／中日本高速道路／日本航空／日本郵便／東日本高速道路／東日本旅客鉄道／丸和運輸機関
卸売･小売業		キヤノンマーケティングジャパン／ニトリホールディングス／パン･パシフィック･インターナショナルホールディングス
金融･保険業		NTTファイナンス／きらぼし銀行／静岡銀行／新生銀行／JCB／住宅金融支援機構カード／第一生命保険／大和証券／中央労働金庫／日本カストディ銀行／日本政策金融公庫／三井住友カード／三井住友銀行／三井住友信託銀行／三菱UFJ銀行／水戸証券
不動産業･物品賃貸業		都市再生機構／野村不動産
学術研究 専門･技術サービス業		アール･アイ･エー／EYストラテジー･アンド･コンサルティング／宇宙技術開発／エル･ティー･エス／オリエンタルコンサルタンツ／海洋研究開発機構／構造計画研究所／デロイト トーマツ コンサルティング／デロイトトーマツファイナンシャルアドバイザリー／トーマツ／日本工営／Bamos／パシフィックコンサルタンツ
生活関連サービス、娯楽業		JTB
教育･学習支援業		東京都公立大学法人／東京大学／東京工業大学 【教員】（１名以上から記載） 青森県立保健大学／鹿児島大学／片柳学園／神奈川／川越東高等学校／関西学院大学／埼玉県立大学／社会医学技術学院／職業能力開発総合大学校／仙台高等専門学校／中央大学／つくば国際大学／東京医療学院／東京都／東京都立大学／目白大学／／National Economics University／Politeknik Elektronika Negeri Surabaya／Quang Nam medical college／University of Indonesia
サービス業		アパグループ／INTLOOP／キャリアデザインセンター／デロイトトーマツコーポレートソリューション／博展／メンバーズ

（２）公務員実績

東京都庁	28	川崎市役所	3	そのほか国家公務	33
東京都特別区	20	東京消防庁	3	そのほか地方公務	33
横浜市役所	7	栃木県庁	3		
神奈川県庁	3	厚生労働省	3		
			合計	136名	

（３）病院等実績

東京都立病院機構	27
東京大学医学部附属病院	14
上記以外の病院･施設等	130
合計	171名

寄付金受領のお礼と報告・お願い

いつも多くの会員の皆様から寄付へのご賛同をいただきありがとうございます。

2024 年度（2024 年 4 月 1 日～ 2025 年 3 月 31 日）は 318 名の方々から約 2,963,000 円のご寄付をいただきました。（なお、同窓会会計年度第 4 期（2023 年 8 月 1 日～ 2024 年 7 月 31 日）の金額実績については 41 ページの「正味財産増減計算書」をご覧ください。）とくに 2013 年にスタートした『新しい寄付制度による維持寄付（10 年維持寄付）』につきましては、終身会費納入後 10 年以上経過された方々のうち 2,958 名の皆さまから、制度創設以来 3,300 万円を超えるご寄付をいただいてきております。

同窓会の財政は、新入生からの入会金、会員からの維持会費（年会費または終身会費）及び寄付金の三つで成り立っています。

しかしながら、以前から厳しい状況が続いている年会費・終身会費に加え、これまで同窓会収入の大きな割合を占めていた入会金についても、入学手続き変更の影響を受け、昨年来、極めて厳しい状況に陥りました。

このような状況ですので、同窓会財政の支えとしての寄付金の比重は一層増してきております。

事情ご賢察いただき、ご寄付への更なるご協力をいただけますようお願い申し上げる次第です。

寄付金は以下の 3 種類になっています。

1　目的寄付：指定された目的に充てる寄付

2　10 年維持寄付：終身会員で納入後 10 年以上経過された方に 3 年に 1 回、一口 5,000 円の寄付をお願いするもの

3　維持寄付：上記以外の一般的な寄付

なお、寄付金についても払い込みは多様な方法を用意し、大変簡単にできるようになりました。詳しくは 45 ページまたは同窓会ホームページをご覧ください。

24 年度にご寄付いただいた方々は以下の名簿のとおりです。

＊お名前（敬称略）/ 卒年（西暦下2桁）/ 大学名　都：新旧都立大　首：首都大学東京　科：旧科学技術大　医：旧医療技術短大及び旧保健科学大 / 院：大学院 / 学科・コース・専攻

維持寄付

小林　忠雄 53都経済
川島　岩治 54都経済
宮地 壽々子 55都仏文
佐野　功 56都化学
石渡　名澄 58都化学
藤岡　昭 60都法学
新見　進 60都機械
所　弘之 61都経済
山崎　博子 61都生物
簀戸　徳彦 61都土木
松本　昌幸 61都土木
杉浦　治人 62都法学
木村　章義 62都経済
糸永　忠生 63都経済
小泉　時宏 63都経済
柳　隆 63都数学
梅田　一好 63都機械
太田　安彦 63都機械
星銅　孝生 64都建築
髙野　六雄 65都機械
石橋　正紀 66都数学
太田　正明 66都数学
大部　一夫 66都化学
中島　知行 66都機械
國府　勝郎 67都土木
今井　信一 68都機械
倉部　信一 70都法律
山田　敏夫 70都法律
保倉　俊一 70都建築
長谷部 祐介 71都経済
庄子　友康 72都政治
鈴木　隆雄 72都土木
奥田　修一 73都建築
岸　修 74都数学
廣瀬　省蔵 74都建築
時田　幸男 74都建築
平　幹雄 74都工化
内山 美津子 75都法律
吉田　雅俊 75都機械
荻原　信吾 76都仏文
堀田　誠 76都法律
髙橋　茂樹 76都数学
波多野 純一 76都土木
鍛谷　宗孝 77都法律
矢沼　彰 77都経済
板倉　信嗣 77都物理
山本　裕三 77都工化
青木　克行 78都経済
石澤　清明 78都経済
加藤　久 78都経済
滝口　亨 78都数学
茂呂　英雄 78都地理
有本　督 78都機械
高橋　友三 80都経済
黒川　信 80都生物
竹田　直規 80都電気
窪田　喜夫 80都工化
渡邉　弥 81都経済
井坂　昇二 81都数学
宮田　好明 81都数学
西島　剛志 81都物理
諸貫 菜美子 82都法律
笹本　明 82都経済
辺見　京一 82都経済
土屋　徳寿 82都土木
橋本　公一 82都工化
大内　章生 83都法律
笹木　隆弘 83都機械
篠原　朋子 84都法律
小瀬川 泰志 84都土木
清水　俊哉 84都建築
佐藤　誠一 85都経済
和泉　宏明 87都心理
小林　秀雄 87都法律
丸山　孝一 87都電気
鈴木　裕久 88都政治
髙栁　洋子 89都英文
米山　美景 89都化学
土屋　博訓 89都建築
松原　健太 90都土木
小池　芳夫 91都経済
及川　育矢 92都建築
原田　亮 96都政治
鈴木　慶一 01都経済
赤堀　洋子 67都生物
猿谷　彰 72都土木
大野　瑞枝 08都法律
浦　誠 90科管理
武田　重之 92科航空
鳥羽　達也 00科航空
久保田彩容子 94医看護
川島 枝里子 09首歴・考
上嶋　聖人 07科生産
古澤　周作 12首機械
鈴木　克直 12首放射
竺　豊 燁 13首経営学
都立大工化名誉教授金澤孝文同窓会
74 年 SIC クラス会

10 年維持寄付

川島　岩治 54都経済
田中　和夫 54都土木
三ツ木 和照 55都英文
山縣　英明 56都人文
渡部　泰夫 57都経済
池田　俊雄 57都電気
鈴木　松一 58都工化
丸山　雅道 59都経済
三橋　省三 59都経済
佐藤　信一 59都電気
岡﨑 不二夫 60都法学
大川　時夫 60都物理
大沼　邦夫 60都機械
加藤　英男 61都法学
小倉　幸弘 61都化学
鎌田　達雄 61都化学
江幡　吉信 62都経済
伏谷　哲夫 62都経済
水谷　光一 62都経済
伊藤　朋恭 62都化学
髙橋　泰枝 62都生物
高橋 光次郎 62都機械
赤津　千鐘 63都経済
増渕　久一 63都経済
今道　周雄 63都電気

海老澤 和明 64都法学
杉村　哲雄 64都法学
平綿　文雄 64都法学
伊藤　利久 64都経済
下田　俊雄 64都電気
蓮見　壽男 65都物理
谷口　正榮 65都機械
澤田　諄 65都土木
泰山　英樹 65都土木
谷崎　護久 66都数学
田渕　良雄 66都電気
森　顕 66都土木
久米　稔 66都建築
榎澤　義男 67都物理
高橋　勝 67都電気
萬匠 東亜男 67都土木
岩下　憲夫 67都建築
樋口　勝美 68都法律
鳴島　敦雄 68都政治
根本　節子 68都生物
印東　卓雄 68都機械
喜入　博 69都地理
工藤　博正 69都土木
中島　平三 70都英文
大槻　賢一 70都法律
倉部　信一 70都法律
増田 貴一郎 70都物理
菅森　茂 70都電気
中村　洋一 70都電気
反町　研一 71都法律
髙橋　裕二 71都機械
山根　益男 71都電気
齋藤　昌治 72都社会
石橋　映二 72都経済
土谷　雅雄 72都経済
田上　俊久 72都機械
蔵田　友義 72都電気
鈴木　敏郎 72都土木
山本　芳久 73都法律
井口　哲夫 73都経済
河野　廣 73都経済
名古屋 和明 73都経済
安永 雄一郎 73都経済
笹川 耕太郎 73都地理
佐藤　一典 73都機械
石井　威史 73都工化
髙塩　博 73都工化
山川　徹 74都政治
齊藤　泰一 74都電気
廣瀬　省蔵 74都建築
渡辺　康夫 74都建築
林　忠行 75都法律
蛭田　安孝 75都経済
小山　善生 75都化学
中台　成夫 75都土木
神谷　順二 75都建築
諸橋　康 75都工化
村山　晃 76都政治
飯塚　高史 76都化学
飯島　修治 76都生物
原　敏彦 76都土木
板倉　信嗣 77都物理
田中　紳 77都機械
八木　隆 77都機械
恩田　盛道 77都土木
渡辺　謙二 77都建築
加藤　裕 78都法律
望月　慎 78都数学
江川 龍太郎 78都電気
長島　壽 78都土木
山田　真弘 79都英文
見林　晴生 79都法律
佐藤　義光 79都経済
山岸　健 79都化学
本間　暁 79都生物
諸貫　信行 79都機械
東　了一 79都土木
松葉　元 79都工化
若井　隆男 80都経済
伊藤　信博 80都数学
小松　照夫 80都数学
若林 美和子 80都化学
田中　恒男 80都土木
渡邉　弥 81都経済
宮田　好明 81都数学
大谷　孝 81都電気
岡田　正義 81都土木
南　恒生 81都土木
髙橋　玲子 81都工化
福田　英敏 82都英文
稲垣　勝彦 82都法律
加藤　光儀 82都法律
降幡　高志 82都生物
恒川　磯雄 82都地理
大山　隆 82都機械
太田　武彦 82都土木
吉田　芳久 82都土木
杉原　正之 83都法律
宮澤　靖之 83都化学
川上　善道 83都機械
石川　博之 83都電気
金子　誉 83都土木
毛受 まゆみ 84都法律
原　信敬 84都法律
渡邊　徳明 84都物理
豊川　清信 84都機械
藤原　秋江 84都工化
筒井　美苗 85都中文
毛受　久 85都法律
山崎　浩美 85都生物
落合 伸一郎 85都機械
天見　晴雄 85都機械
田中　禎一 85都工化
松井　尚子 86都国文
渡辺　徹 86都化学
五井　尚人 86都建築
福田　正弘 88都史学
中木　幸一 88都法律
鈴木　裕久 88都政治
柿沼　靖雄 88都経済
佐藤　深幸 89都法律
野元　道子 89都経済
福田　利津 89都経済
土屋　博訓 89都建築
半田　勝也 91都法律
飯塚　健人 92都政治
松田　昌久 92都経済
小澤　厚子 92都数学
及川　育矢 92都建築
長谷川 公子 93都法律
中村　良広 94都土木
立川　智之 96都材化
杉山 多美子 97都法律
門下 健太郎 97都経済
杉村　尚 97都地理
三田村 真道 99都法律
樋口　要 00都材化
野木森 明香 01都経済
阿部　和子 01都生物
澤村　幸子 56都英文
横山　民司 64都独文
古田　明美 70都地理
大月　径生 71都工化
吉田　恵美 78都史学
河村　公隆 78都化学
安藤　清 81都地理
金山　亮太 87都英文
山口　貴史 05都社会
盛田　琢也 05都電情
釜谷　智子 06都経済
藤岡　諒 07都法律
吉野　英樹 98科航空
鳥羽　達也 00科航空
鶴﨑　順子 89医看護
中島　勲 92医放射
坂本　律子 92医理学
久保田 彩容子 94医看護
齋藤　夕子 96医地域
金野　哲也 11首航空
古滝　好則 12首法律
松尾　好晃 13首経シ
秋元　優喜 21都MBA
匿名 1 名

目的寄付

大川　時夫 60都物理
篠田　友孝 60都化学
浅野　繁夫 63都経済
小松　芳雄 63都経済
小野田　博 65都機械
大場　捷行 66都経済
鷹羽　良明 68都建築
堀　那華雄 69都化学
喜入　博 69都地理
倉部　信一 70都法律
増田 貴一郎 70都物理
岸　修 74都数学
廣瀬　省蔵 74都建築
小山　善生 75都化学
高橋　正義 75都機械
田崎　桂子 77都法律
石澤　清明 78都経済
竹内　孝夫 79都土木
渡邉　弥 81都経済
宮田　好明 81都数学
森田　真一 81都物理
大森　保 84都法律
栗山　順子 85都心理
福島　能彰 87都機械
福田　正弘 88都史学
西尾 賢太郎 94都法律
中村　貴司 94都経済
中村 聡太郎 95都電気
鈴木　慶一 01都経済
村山　清 73都化学
鳥羽　達也 00科航空

記念募金

松浦　知彦 67都経済

一般財団法人 建築保全センター

顧問　奥田修一

都立大 1973 年卒　工・建築

建築保全の情報センターとして
公共建築物の有効活用を
サポートします

https://www.bmmc.or.jp/

水沢　雪夫（みずさわ　ゆきお）　著　（幻冬舎）

ある一人の男の話

女性を主にした自伝的 二・八私小説（二は偽で八は真）
Yahoo! JAPAN 著者名で検索して下さい

清水　節夫
都立大 1966 年卒工化・同修士 1968 年卒

新規プロジェクト

現役学生との連携模索と学生の手を借りた情報発信

総務委員会提案
実施代表者　諸貫 信行

第 4 期から継続して学生の手を借りた広報を進めています。同窓会ホームページの整備を進めるとともに、学生にとって身近なインスタグラムや X（旧ツイッター）での発信を進めました。

ホームカミングデーで行われたプロジェクト奨励賞のプレゼンテーションを元に動画を制作してユーチューブに公開しています。また、皆様にとって懐かしい「応援歌」、「学友歌」および「校歌」のサウンドロゴも制作しましたので、是非、お聞きになってください。

インスタグラムはアカウントがないと閲覧できませんが、ユーチューブは「都立大同窓会」で容易に検索できます。ご覧いただき、ご意見を頂戴できると幸いです。

インスタグラムの画面

サウンドロゴは「動画」ではなく「ショート」の中にあります

上記プロジェクトの派生企画として、初の学外での宿泊交流イベントを下記のように計画しました。同窓生の参加は数名のみの予定ですが、現役学生との交流や奥多摩の自然に興味をお持ちのはご参加を検討下さい。

日程：11/29（土）～ 30（日）御嶽山荘 泊
行程（予定）：青梅線 沢井駅集合
小澤酒造見学、御岳渓谷遊歩道散策
ケーブルカーで御岳山駅へ
宿泊先で交流・意見交換、
御嶽神社見学、御岳山ハイキング、
現地にて解散

7 月中旬頃には概要をホームページ等でお伝えし、10 月より参加者を募集する予定です。

東京都立大学 OBOG ネットワークへの登録のお願い

東京都立大学キャリア支援課では、卒業・修了生の皆様に在学生へのキャリア支援にご協力いただくことを目的に「OBOG ネットワーク」を組織しています。

ご登録いただいた皆様方には、ご無理のない範囲で OBOG 訪問のご対応と就活生との交流会へのご参加をお願いしています。

すでに多数の卒業・修了生の皆様にご登録いただいていますが、学生からは、「先輩方の経験談を聞くことができ就活への考えが深まった。」、「親身になって話していただき多くの学びがあった。」などの声が寄せられています。学生にとって、OBOG 訪問は業界の状況や具体的な就職活動方法を知ることができ、交流会では様々な業界の先輩方と交流し視野を広げることができる重要な機会となっています。

ぜひ OBOG ネットワークへのご登録をお願いいたします。詳しくはキャリア支援課ホームページの「卒業生の方へ」をご覧ください。
https://career.tmu.ac.jp/for_alumni/obog.html

東京都立大学同窓会 第4回 定時代議員会 議事録抜粋

日　時　2024 年（令和 6 年）10 月 19 日（土）14：00 ～ 15：17
場　所　東京都立大学南大沢キャンパス 6 号館 110 教室
出席者　代議員総数 244 名、出席代議員 44 名、委任状 133 名
　　出席理事17名（代表理事（会長）含む）出席監事 2 名

【開会と議長選出】

仮議長の奥田理事が開会宣言を行い、続けて議長として黒川理事（副会長）を提案し、承認された。続いて石澤事務局長より、現時点での出席者 39 名、委任状 133 名、合計 172 名で定款第 25 条第1項の代議員会の定数を満たしているとの報告があった。議長が関根理事を書記に指名し、議事録署名人については、松浦知彦氏と石澤清明氏の2名を指名した。

吉田会長の挨拶と活動報告の後、議事に入った。

【議題】

（1）決議事項　第 1 号議案　第 4 期決算「2023 年（令和 5 年）8 月 1 日から 2024 年（令和 6 年）7 月 31 日までの決算書類（財産目録等を含む）の承認の件

山川財務委員長より議案の説明を別記の議題（1）決議事項 1「第 4 期決算「2023 年（令和 5 年）8 月 1 日から 2024 年（令和 6 年）7 月 31 日までの決算書類（財産目録等を含む。）」の承認の件」、「事業報告」、「八雲サロン開催実績」、「2023 年度（一社）東京都立大学同窓会寄付講義　講師、講義題名、講義日一覧」、「決算報告書」、「貸借対照表」、「正味財産増減計算書」、「正味財産増減計算書内訳表」、「財務諸表に対する注記」、「附属明細書」、「財産目録」を提示し、それに沿って説明があった。

第 1 号議案の会計監査報告：小原監事より下記の報告があった。

・事業報告は法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認める。
・理事の職務の執行に関する不正行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められない。
・計算書類及びその附属明細書は、法人の財産及び損益の状況を適正に表示しているものと認める。

第 1 号議案の質疑：議長が発言を促すも発言はなかった。

第 1 号議案の採決：委任状を含め賛成多数となり、第 1 号議案は可決された。

（2）報告事項

①第 5 期予算

山川財務委員長から議案の説明を別記の議題（2）報告事項「第 5 期予算」、「第 5 期事業計画」、「第 5 期予算案（総括表）」、「第 5 期予算案（事業別算定表）」を提示し、それに沿って説明があった。

②第 5 期予算に関する質疑

Q：米山 哲夫（都立大 75 年卒 地理）代議員から、終身受取会費は会報の一時停止で 800 万円に増えたものが第 4 期では 400 万円になり、それを第 5 期予算では 500 万円にしているが可能か。また、会報の一時停止の案内は何％の方に出しているか。

A：山川財務委員長から、過去の実績等を検討して終身受取会費は 500 万円にし、会報の一時停止は会報 18 号を発送した時に全員に告知して 400 万円の増額となったとの説明があった。

Q：宇津川 喬子（首都大 12 年卒 地理）代議員・理事から、第 5 期の予算案に支部の活動費が計上されていないが、それぞれの勘定科目の中に計上されているとの理解で良いか。

A：山川財務委員長から、旅費交通費等それぞれの勘定科目に計上しているとの説明があった。

さらに石澤事務局長から、支部活動の支援・補助は定款で定められており、旅費交通費の他、通信費補助や総会のお祝い金という形で支援しているとの補足説明があった。

また、山川財務委員長から、今後も支部の活動を尊重し支援して行きたいとの発言があった。

Q：岡崎 裕（都立大 72 年卒 機械）代議員から、各クラブの HP の運営は大変で、特に OBOG 会の HP を持っているところは少ない。同窓会での対応を検討してほしい。

A：奥田組織整備委員長から、クラブ・サークルの OBOG 会や支部活動の見える化は大事で、クラブ・サークルや支部の HP 掲載でも写真を掲載し、また、各オリジナルの HP へのリンクの設定等ネットワーク化を進めていきたい。

Q：戸邊 文博（都立大 73 年卒 建築）代議員から、エリカ混声合唱団の初期のメンバーで創部 65 周年の記念講演会に向けた活動している。学生だけではなく OB の皆さんにも参加して欲しい。また、同窓会に支援してもらえば各 OBOG 会が活性化すると思う。

Q：吉田 雅一（都立大 84 年卒 政治）代議員から、卒業生の連絡先を教えてもらえるのかとの質問があった。

A：石澤事務局長から、個人情報の取扱いは個人情報保護規程で決まっており同窓会の HP に掲載している。新規の開示は容易ではなく、本人の同意も必要となる。事務局ではご本人に電話及びメールで個々に確認して対応していると説明があった。

Q：米山 哲夫（都立大 75 年卒 地理）代議員から、ボート部は同窓会に一番早く登録したが、他のクラブ・サークルの状況はどのようになっているのか。

A：石澤事務局長から、クラブ・サークルの各 OBOG 会に問い合わせして 40 団体程度登録することができた。HP の OBOG 会の登録団体の概要は一新していると説明があった。

以上で審議を終了し、議長は 15 時 17 分に閉会を宣言した。

第5回定時代議員会の開催（予定）

1　日　時　2025 年 10 月 18 日（土）14 時
2　場　所　東京都立大学南大沢キャンパス 6 号館 101 教室
なお、終了後、生協食堂において懇親会を予定しています。

東京都立大学同窓会　会計報告

財務委員長　山川　徹

一般社団法人東京都立大学同窓会の財務諸表は「公益法人会計基準」に準拠し、公認会計士の指導を受けて作成しています。

正味財産増減計算書

2023年8月1日から2024年7月31日まで

（単位：円）

科目				当年度	前年度	増減
Ⅰ 一般正味財産増減の部	経常増減の部	経常収益	受取入会金	10,229,000	20,420,000	△ 10,191,000
			受取入会金	10,220,000	20,420,000	△ 10,200,000
			八雲クラブ入会金	9,000	0	9,000
			受取会費	10,840,646	5,544,706	5,295,940
			正会員受取会費	1,407,000	988,846	418,154
			正会員終身受取会費	8,279,846	4,199,692	4,080,154
			交流会参加費	0	356,168	△ 356,168
			新年会会費	9,500	0	9,500
			みやこの集い	110,500	0	110,500
			八雲クラブ	1,033,800	0	1,033,800
			参加費収入	172,000	0	172,000
			八雲サロン	172,000	0	172,000
			受取寄付金	3,411,020	3,532,000	△ 120,980
			受取寄附金（目的寄附）	862,020	248,000	614,020
			受取寄附金（維持寄附）	547,000	780,000	△ 233,000
			受取寄附金（維持寄附）終身	1,996,000	2,504,000	△ 508,000
			その他寄附金	6,000	0	6,000
			雑収益	4,291,416	154,863	4,136,553
			八雲クラブ繰入金収入	3,976,551	0	3,976,551
			その他雑収益	314,865	154,863	160,002
			経常収益計	28,944,082	29,651,569	△ 707,487
		経常費用	事業費	20,936,679	20,992,500	△ 55,821
			給料手当	7,043,062	6,307,665	735,397
			会議費	838,254	470,165	368,089
			旅費交通費	397,256	188,200	209,056
			通信運搬費	438,271	3,449,095	△ 3,010,824
			消耗品費	255,863	143,839	112,024
			印刷製本費	485,355	71,728	413,627
			光熱水料費	21,762	33,035	△ 11,273
			賃借料	2,675,496	2,695,315	△ 19,819
			広告宣伝費	25,000	25,000	0
			諸謝金	1,695,500	819,000	876,500
			支払手数料	823,722	121,830	701,892
			支払助成金	3,957,138	4,147,628	△ 190,490
			支払奨学金	2,280,000	2,520,000	△ 240,000
			管理費	10,782,191	11,922,227	△ 1,140,036
			給料手当	1,159,678	1,261,535	△ 101,857
			会議費	4,584	0	4,584
			旅費交通費	646,384	593,766	52,618
			通信運搬費	1,984,356	685,836	1,298,520
			消耗品費	214,534	208,368	6,166
			印刷製本費	3,720,765	6,582,105	△ 2,861,340
			光熱水料費	3,632	6,608	△ 2,976
			賃借料	65,923	83,064	△ 17,141
			広告宣伝費	0	0	0
			諸謝金	639,000	605,000	34,000
			租税公課	82,513	70,529	11,984
			支払手数料	1,938,078	1,359,416	578,662
			支払助成金	190,744	301,000	△ 110,256
			委託費	132,000	132,000	0
			修繕費	0	33,000	△ 33,000
			経常費用計	31,718,870	32,914,727	△ 1,195,857
			評価損益等調整前当期経常増減額	△ 2,774,788	△ 3,263,158	488,370
			評価損益等計	0	0	0
			当期経常増減額	△ 2,774,788	△ 3,263,158	488,370
	経常外増減の部	経常外収益	経常外収益計	0	0	0
		経常外費用	経常外費用計	0	0	0
			当期経常外増減額	0	0	0
			当期一般正味財産増減額	△ 2,774,788	△ 3,263,158	488,370
			一般正味財産期首残高	112,291,959	115,555,117	△ 3,263,158
			一般正味財産期末残高	109,517,171	112,291,959	△ 2,774,788
Ⅱ 指定正味財産増減の部			受取寄附金等	0	0	0
			当期指定正味財産増減額	0	0	0
			指定正味財産期首残高	87,500,000	87,500,000	0
			指定正味財産期末残高	87,500,000	87,500,000	0
Ⅲ 正味財産期末残高				197,017,171	199,791,959	△ 2,774,788

第４期決算（貸借対照表） 2024 年 7 月 31 日現在

一般社団法人 東京都立大学同窓会　　（単位：円）

勘定科目			当年度	前年度	増減
Ⅰ 資産の部	流動資産	現金預金	109,261,171	112,063,959	△ 2,802,788
		現金	539,958	289,296	250,662
		普通預金	108,721,213	111,774,663	△ 3,053,450
		前払費用	242,000	242,000	0
		貯蔵品	14,000	2,000	12,000
		流動資産合計	109,517,171	112,307,959	△ 2,790,788
	固定資産	特定資産			
		子会社株式	87,500,000	87,500,000	0
		特定資産合計	87,500,000	87,500,000	0
		固定資産合計	87,500,000	87,500,000	0
	資産合計		197,017,171	199,807,959	△ 2,790,788
Ⅱ 負債の部	流動負債	預り金	0	16,000	△ 16,000
		仮受金	0	0	0
		流動負債合計	0	16,000	△ 16,000
	負債合計		0	16,000	△ 16,000
Ⅲ 正味財産の部	指定正味財産				
	寄附金		87,500,000	87,500,000	0
	指定正味財産合計		87,500,000	87,500,000	0
	（うち特定資産への充当額）		(87,500,000)	(87,500,000)	0
	一般正味財産		109,517,171	112,291,959	△ 2,774,788
	正味財産合計		197,017,171	199,791,959	△ 2,774,788
	負債及び正味財産合計		197,017,171	199,807,959	△ 2,790,788

第４期決算（財産目録） 2024 年 7 月 31 日現在

一般社団法人 東京都立大学同窓会　　（単位：円）

貸借対照表科目	場所・物量等	内容等	金額
（流動資産）			
現金	手許在高		539,958
普通預金	みずほ銀行多摩センター支店		88,561,002
	ゆうちょ銀行		11,197,730
	ゆうちょ銀行	東京都立大学同窓会	556,330
	みずほ銀行南大沢支店	東京都立大学への名称変更記念募金	3,683,858
	ゆうちょ銀行	東京都立大学への名称変更記念募金	1,078,168
	三井住友銀行渋谷支店		3,644,125
貯蔵品		QUO カード	14,000
前払費用		2024 年 8 月から 2025 年 3 月 家賃	242,000
流動資産合計			109,517,171
（固定資産）			
特定資産			
子会社株式	1,750 株	㈱都立大学同窓会サービス株式	87,500,000
固定資産合計			87,500,000
資産合計			197,017,171
（流動負債）			
預り金		源泉所得税	0
流動負債合計			0
負債合計			0
正味財産			197,017,171

第5期予算（総括表）

2024年8月1日～2025年7月31日

単位　千円

科目			第５期予算
経常収益	受取入会金	受取入会金	15,320
	受取会費	正会員受取会費	977
		正会員終身受取会費	5,130
	受取寄附金	受取寄附金（目的寄附）	448
		受取寄附金（維持寄附）	667
		受取寄附金（維持寄附）終身	2,523
	受取会費	八雲クラブ会員会費	1,180
	前受金	八雲サロン参加費	204
	仮受金	八雲クラブ入会金等	15
	雑収益	協賛広告掲載料等	304
		受取利息	1
		イベント事業参加費	755
	経常収益計		27,524

【時限的特別会計】

【奨学金事業】　　単位　千円

科目			第５期予算
経常費用	事業費	旅費交通費	2
		支払奨学金	2,040
		支払手数料	20
	経常費用計		2,062

第５期予算は、時限的特別会計の奨学金事業を除き、通常の事業活動の経常収益と経常費用の収支差は零とする。

単位　千円

科目			第５期予算
経常費用	事業費	給料手当	72
		会議費	1,269
		旅費交通費	277
		通信運搬費	341
		消耗品費	80
		広告宣伝費	55
		印刷製本費	561
		委託費	132
		賃借料	2,280
		諸謝金	768
		支払助成金	3,396
		支払手数料	327
		予備費	30
	管理費	給料手当	8,084
		旅費交通費	900
		通信運搬費	2,116
		消耗品費	238
		印刷製本費	3,050
		委託費	132
		光熱水料費	24
		賃借料	461
		諸謝金	480
		租税公課	70
		支払助成金	360
		支払手数料	1,921
		予備費	100
経常費用計			27,524

八雲クラブで会いましょう

丑山 佐千男　都立大 74 年卒 政治

八雲クラブは JR 渋谷駅から徒歩 5 分。世界で名高いスクランブル交差点を渡り、渋谷 PARCO の隣のマンションにあります。会員が寛ぎのひと時を過ごせる場であり、たくさんの素晴らしい出会いがあります。現役学生から矍鑠（かくしゃく）としたご高齢の先輩までが集まる毎年恒例の新年会はじめ、四季折々さまざまな集いやイベントが企画されています。

八雲クラブの会員は現在 250 名ほど。年間 2000 人以上の利用があり、同窓生以外の方（ビジター）もたくさん訪れています。

会員には室のキーが渡され、ネットで予約すればいつでも利用できます。ゼミやサークルの同窓会、囲碁の会、読書会、句会 …… など自由に利用されています。

また定期的に送られてくるニュースレターで、イベントや八雲サロンの予告などが知らされます。八雲サロンは 25 年 6 月で 432 回を数え、35 年以上続いている同窓会の中でもっとも古くからの活動の一つです。同窓生のゲストスピーカーとして 1 時間ほどのお話と、参加者が自己紹介と質問をする形式で進めています。隔月第 2 水曜日 19 時～21 時の開催で、会員ではない同窓生・現役学生も参加できます。同窓生による異業種交流会であり、現役・OB・OG の交流の場ともなっています。

同窓生のみなさん、八雲クラブで会いましょう!

八雲クラブの詳しい紹介と入会方法、八雲サロン予告などは同窓会ホームページで八雲クラブのコーナーをご覧ください（https://tmu-alumni.jp/yakumo-club/salon）。

第 430 回 八雲サロン風景

TDS（株式会社都立大学同窓会サービス）第 39 期会計報告　代表取締役 中村 政和

貸借対照表（2024 年 1 月 31 日現在）

単位：円

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	34,362,726	流動負債	833,978
現金及び預金	34,362,726	未払金	6,178
固定資産	54,548,291	前受金	570,000
・有形固定資産	54,475,491		
建物	3,501,811	未払法人税等	257,800
土地	50,973,680	負債の部合計	833,978
・無形固定資産	72,800	純資産の部	
電話加入権	72,800	株主資本	88,077,039
		（資本金）	87,500,000
		資本金	87,500,000
		（利益余剰金）	577,039
		繰越利益余剰金	577,039
		純資産の部合計	88,077,039
資産の部合計	88,911,017	負債及び純資産の部合計	88,911,017

貸借対照表注記事項
減価償却累計額　33,636,909 円

販売費及び一般管理費

自 2023 年 2 月 1 日 至 2024 年 1 月 31 日　単位：円

科目	金額
管理費	504,600
警備費	263,640
厚生費	7,590
減価償却費	254,885
水道光熱費	126,117
旅費交通費	150,027
手数料	209,684
租税公課	250,700
保険料	29,850
通信費	115,800
合計	1,912,893

損益計算書

自 2023 年 2 月 1 日　至 2024 年 1 月 31 日　単位：円

【純売上高】	
貸室収入	2,280,000
売上総利益	2,280,000
【販売費及び一般管理費】	1,912,893
営業利益	367,107
【営業外収益】	
受取利息	534
経常利益	367,641
税引前当期純利益	367,641
法人税等	257,880
当期純利益	109,761
前期繰越利益	467,278
当期未処分利益	577,039

利益処分計算書

単位：円

【当期未処分利益】	577,039
【次期繰越利益】	577,039

上記の通りご報告申し上げます。
2024 年 3 月 21 日
株式会社　都立大学同窓会サービス
代表取締役　中村　政和
取締役　袴田　勝紀
取締役　青木　克行

会計監査の結果、上記の報告は適正であることを認めます。
監査役　吉田 俊雄
監査役　松本　傳

募　集

2026 年 7 月に発行予定の TMU21 号（予定発行部数 4 万部）に掲載する協賛広告・原稿・表紙を飾る作品を募集します。それぞれ本誌をご参照ください。

いただいた掲載料は同窓会活動に役立たせていただきます。

いずれも事務局へメールでご連絡ください。

同窓会事務局 tmu-al@tmu.ac.jp

メール件名に広告・投稿・表紙を明記してください。

またご自身の出身大学・卒年・学科／コースを添えてください。

〆切はいずれも 26 年 2 月末日といたします。

掲載の可否はすべて編集委員会に一任させていただきます。

協賛広告

お仕事の広告や同窓生へのメッセージに

ご連絡いただくと、折り返し広告申込書を返信しますので、必要事項を記入の上、期日までに原稿や版下の送付と掲載料のお振込みをしてください。

広告サイズと掲載料（複数コマサイズは割引）

① 1 コマサイズ
　左右 78 mm×天地 38 mm（5000 円）

② 2 コマサイズ
　左右 166 mm×天地 38 mm（9000 円）

③ 4 コマサイズ
　左右 166 mm×天地 79 mm（1 万 5000 円）

④ 1 p（12 コマサイズ）
　左右 160 mm×天地 250 mm（5 万円）

⑤ 表 2・3
　左右 168 mm×天地 250 mm（10 万円）

⑥ 裏表紙カラー広告
　左右 168 mm×天地 250 mm（12 万円）

住所・メアド等の変更届のお願い

ご住所やメールアドレスが変わった場合は、必ず同窓会事務局にお届けください。

会報と同封の「住所等変更届（兼払込票）」やホームページの「住所変更等通知書」に必要事項を記載し、ファックス、郵送、メールで連絡してください。電話での連絡もできます。

変更のお届けがないと、以後、会報などのお届けの手段がなくなり、同窓会との「つながり」が途切れてしまいます。ぜひご連絡をお願いいたします。

投稿の募集

「同窓生はいま」「TMU プラザ」「支部だより」へのご投稿を募集します。

いずれも 1000 字程度の原稿と関連する写真 1 点、「同窓生はいま」は、ご本人のお写真も添えてください。その他「特別寄稿」としてテーマや字数にこだわらずにお書きになった原稿も受け付けます。

個人に限らず部活、OBOG 会、地域や職場の同窓生グループ・サークルなどの「TMU プラザ」に収まらない活動の紹介も歓迎いたします。

★ 表紙を飾る作品

―― 求む 力作！　絵画・イラスト・写真！

テーマは一切問いません。母校や学生時代につながる想いを込めた作品をお寄せください。500 字程度の「表紙の言葉」と、ご自身のお写真も同時にお届けください。

〆切後の編集委員会で、応募作の中から 1 点を選ばせていただきます。

近年の表紙は以下のとおりです。ホームページではバックナンバーの表紙だけでなく、投稿を含めた全ページをご覧いただけます。

TMU17 号（2022 年）

TMU18 号（2023 年）

TMU19 号（2024 年）

TMU20 号（2025 年）

編集後記

会報のカラー化を目指し、今回から版下を自前で作成することにしました。不慣れなため不備も多くあろうかと思いますが、ご容赦願います。

広告や投稿を通し、同窓生どうしのつながりが少しでも活性化することを期待いたします。

編集委員長代行　諸貫 信行

「会報 TMU の発送の一時停止」について

会報 TMU18 号・19 号でお知らせしていますように、厳しい財務状況が続いているため、「2024 年以降、会報を発行する 3 月 31 日を基準に 5 年以上会費未納の場合は、会報 TMU の発送を一時停止させて頂くこと」となりました。その後停止条件が解消した場合は送付を再開致します。

同窓会の一層の発展のためには財政基盤の安定、強化が必須の状況となっていることをご理解頂き、年会費あるいは終身会費の納入を改めてお願い致します。

会費は以下の金額です。

年会費　　3,000 円
終身会費　　30,000 円

会費・終身会費、寄付金のお願い

【会　費】

- 年会費　　3,000 円
- 終身会費　　30,000 円

【寄付金】

- 目的寄付：指定された目的に使用できる寄付 1 口 5,000 円以上
- 維持寄付：目的を定めない同窓会活動に対する一般的寄付　1 口 5,000 円以上
- 10 年維持寄付：終身会費を納めて 10 年を経過した皆様に 3 年に 1 回 5,000 円の寄付をお願いしています。

【払込手続き】

①　クレジットを利用してのお支払い

下記の QR コードをスキャンして、クレジットの決済画面から払込みができます。

＜年会費＞　＜終身会費＞　＜寄付金＞

②　インターネットバンキングを利用してのお支払い

下記の口座にお振込みください。

- ゆうちょ銀行 〇一九（ゼロイチキュウ）
  ※ゼロイチキュウは支店名です。ATM のトップ画面で「支店名」はカタカナの「セ」を押してください。
- 当座預金 口座番号　　421596
- 口座名称　シャ）トウキョウトリツダイガクドウソウカイ

インターネットバンキングでの支払いの場合は、必ず同窓会事務局にメール（tmu-al@tmu.ac.jp）で以下の事項をお知らせください。

① 氏名　② ID　③ 学部・学科　④ 寄付の種類

③　ゆうちょ銀行の「払込取扱票」を利用してのお振込み

※払込手数料は同窓会が負担します。

「払込取扱票」を郵送しますので、同窓会事務局にメールまたは電話でお届け先の住所をご連絡ください。

＜お問い合わせ先＞

（一社）東京都立大学同窓会 事務局
〒 192-0364　東京都八王子市南大沢 1-1
東京都立大学 南大沢キャンパス内　本部棟 342
TEL：042-670-7702（直通）
042-677-1111（内線 2181）
e-mail：tmu-al@tmu.ac.jp

TMU　第 20 号　2025 年 7 月 1 日　発行

発行　一般社団法人　東京都立大学同窓会
〒 192-0364　東京都八王子市南大沢 1-1
直通電話　042-670-7702
FAX　042-677-2894
大学電話　042-677-1111（代）（内 2181）
電子メール　tmu-al @ tmu.ac.jp
郵便振替口座　00150-0-426678

印刷　京浜印刷株式会社
〒 140-0013　東京都品川区南大井 4-7-3
TEL 03-3763-7321
FAX 03-3764-6839

同窓会ホームページ
https://tmu-alumni.jp
© 一般社団法人　東京都立大学同窓会

税理士界一筋おかげさまで50周年

「税理士とその関与先のために」創業以来の理念です。

日税グループは、この理念のもと、税理士先生と一緒に関与先様の繁栄を支え、
そこに関わる全ての方々に豊さと幸せをもたらすことによって
日本社会に貢献いたします。

税理士とその関与先のために
50th
NICHIZEI GROUP

株式会社日税ホールディングス

株式会社日税ビジネスサービス
株式会社日税不動産情報センター
株式会社日税経営情報センター
株式会社Do itプランニング
株式会社共栄会保険代行
株式会社日税サービス
株式会社日税信託
株式会社安田システムサービス

代表取締役会長(CEO) 吉田雅俊 都立大1975年卒 機械工学科

〒163-1529 東京都新宿区西新宿1丁目6番1号 新宿エルタワー29階 TEL:0120-155-551
北海道・東京・埼玉・千葉・横浜・名古屋・大阪・神戸・広島・九州を含め全国54拠点

会報 TMUNo.20 正誤表

東京都立大学同窓会会報 No.20 に下記の誤りがありました。お詫びして訂正します。

頁	該当箇所	誤	正
3	表紙の言葉　齋藤 夕子氏の卒年	1986 年	1996 年
34	右下 4 行目	中山康夫理事長	中山泰夫理事長